



海外研修報告  
年次大会報告  
クラブ活動報告



報告書

ホストクラブ：金光八尾中学校・高等学校インターアクトクラブ

スポンサークラブ：八尾ロータリークラブ







# 目次

---

- \* 発刊にあたって .....1
- \* 2009～2010年度 新入生歓迎会報告 .....2
- \* 2010～2011年度 海外研修報告 .....7
- \* 2010～2011年度 年次大会報告 .....31
- \* 各インターアクトクラブ活動報告 .....46
  - 清風学園 I.A.C
  - 大阪桐蔭中学・高等学校 I.A.C
  - 関西大学連携浪速中学校・浪速高等学校 I.A.C
  - 四天王寺高等学校・中学校 I.A.C
  - 金光八尾中学・高等学校 I.A.C
  - 相愛中学・高等学校 I.A.C
- \* インターアクトクラブ名簿 .....52
- \* 編集後記 .....59



## 《SCRUM No. 36》 発刊にあたって

SCRUMには、年間のインターアクト活動状況が報告されています。

今年度は、清風中学・高等学校が担当された羽衣青少年センターでの新入生歓迎会、関西大学連携浪速中学校・浪速高等学校が担当された韓国（ソウル）への海外研修、大阪桐蔭中学・高等学校が担当された年次大会、その他への活動に皆様のご協力をいただき誠にありがとうございます。

本年度もインターアクトの活動を通じて、インターアクターの皆様と顧問の先生とロータリアンに様々な出会いがあり、活動の中で奉仕の精神を養うことによりこびを見いだし、そして日ごろは勉学に明け暮れるインターアクターにとって、たとえわずかな時間でも大切に、この社会に生きている事を実感し、人間としての向上をはかり一步一步と大地を踏みしめ力強く前進されることを心から願っています。

SCRUM No. 36にはインターアクトの活動状況が詳しく報告されておりますので、是非一読頂き活動の参考にしてください。

末尾になりましたが、編集を担当されました金光八尾中学・高等学校はじめご協力をいただきました皆様に厚く御礼申し上げます。今後ともインターアクトの活動をよろしく願いいたします。

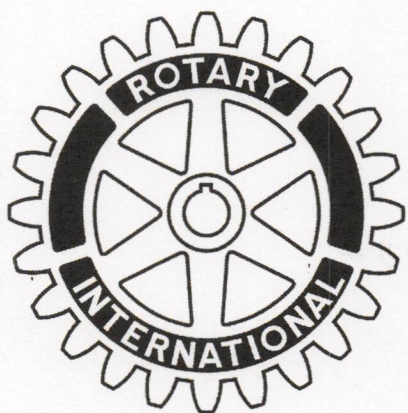
2011年1月31日

国際ロータリ第2660地区  
インターアクト委員会  
委員長 谷野 清孝



2009～2010年度 RI第2660地区

# インターアクト新入生歓迎会



日	時	平成22年6月6日(日)
場	所	大阪府立羽衣青少年センター
ホ	ス	ト
ク	ラ	ブ
ク	ラ	ブ
ス	ポ	ン
サ	ー	ク
ラ	ブ	



2009～2010

国際ロータリー第2660地区  
インターアクトクラブ新入生歓迎会

プログラム

Sunday, June 6th, 2010  
羽衣青少年センター

- 9:30 登録開始・名札配付
- 10:00 開会式  
司会：清風学園IAC  
挨拶：大阪南RC 会長 武田太郎様
- 10:20 名簿班(A～F)に分かれてウォークラリー
- 11:50 ウォークラリー終了
- 12:00 昼食(バーベキュー)  
名簿班ごとに共同作業で
- 13:00 昼食片付け・焼き板制作開始
- 14:30 片付け
- 14:40 閉会式  
講評：地区インターアクト委員長 田中康正様
- 15:00 インターアクター解散



2009-2010 RI2660地区 インターアクトクラブ新入生歓迎会 参加者名簿 2010.06.06(Sun.)

大阪桐蔭	顧問		仲谷 浩一	
大阪桐蔭	顧問		瀬島 奈保子	
大阪桐蔭	顧問		北澤 亜紀	A
大阪桐蔭	高1		小野 陽子	B
大阪桐蔭	高1		佐藤 衣美	C
大阪桐蔭	高1		山本 有香	D
大阪桐蔭	高1		玉井 志保里	E
大阪桐蔭	高1	新	木村 裕貴	F
大阪桐蔭	高1	新	扇田 昂典	A
大阪桐蔭	中3	新	稲沢 彩樹	B
大阪桐蔭	中3	新	正木 佑芽	C
大阪桐蔭	中3	新	渡邊 瞳	
大東RC	RC		田川 和見	
大東RC	RC		中野 秀一	
相愛	顧問		川西 清史	
相愛	顧問		松本 多加	
相愛	高3	新	森内 友梨恵	D
相愛	高3	新	森原 紗英	E
相愛	高3	新	坂東 亜衣子	F
相愛	高3	新	上田 弥穂	A
相愛	高3	新	中村 紗知子	B
相愛	高2	新	佐田 萌子	C
相愛	高2	新	伏見 有紗	D
相愛	中3	新	吉倉 ひなこ	E
相愛	中3	新	梶 礼美	F
相愛	中3	新	門松 美幸	A
相愛	中2	新	町田 祐季子	B
大阪RC	RC		奥田 吾朗	
大阪RC	RC		石原 昌二	
浪速	顧問		木村 智子	
浪速	顧問		山口 敦子	
浪速	高3		二宮 隆行	C
浪速	高3		藤上 築	D
浪速	高2		井上 加奈子	E
浪速	高2		小嶋 優	F
浪速	高2		司波 睦子	A
浪速	高2		福本 真奈	B
浪速	高2		藤田 真希	C
浪速	高2		辰巳 奈都貴	D
浪速	高2		木林 悠	E
浪速	高2		藤岡 祐菜	F
浪速	高2		坂 優季	A
浪速	高2		梶本 遥香	B
浪速	高2		宗 彩芽	C
浪速	高2		山本 理絵	D
浪速	高1		菅 唯菜	E
大阪住吉RC	RC		西尾 良一	

清風学園	顧問		中村 明夫	
清風学園	顧問		高橋 達矢	
清風学園	顧問		儀満 光治	F
清風学園	高2		安達 佑	A
清風学園	高2		高畑 勝司	B
清風学園	高2		清水 哲	C
清風学園	高2	新	生田 啓之助	D
清風学園	中3	新	木村 領介	
大阪南RC	RC		武田 太郎	
四天王寺	顧問		岡 宏治	
四天王寺	顧問		白崎 真	
四天王寺	顧問		松本 真奈	
四天王寺	高3		松山 真由香	E
四天王寺	高3		栗原 律子	F
四天王寺	高3		稲村 美子	A
四天王寺	高2		藤川 由里	B
四天王寺	高2		潮田 誠美	C
四天王寺	高1		柳川 咲	D
四天王寺	高1		飯田 有	E
四天王寺	高1	新	榊 芳恵	F
四天王寺	高1	新	徳田 千雅	A
四天王寺	高1	新	吉田 絢香	B
四天王寺	中3		山田 奈津実	C
四天王寺	中3		西澤 明日香	D
四天王寺	中3		東澤 亜美	E
四天王寺	中3		上原 梨那	F
四天王寺	中1	新	高畑 祐香	A
四天王寺	中1	新	山本 真央	B
四天王寺	中1	新	熊谷 朱音	C
大阪阪南RC	RC		羽賀 順一	
大阪阪南RC	RC		汲田 英明	
大阪阪南RC	RC		中山 実	
大阪阪南RC	RC		谷野 清孝	
大阪阪南RC	RC		高木 正夫	
大阪阪南RC	RC		河野 利紘	
大阪阪南RC	RC		和田 健	
大阪阪南RC	RC		渡邊 猛	
金光八尾	顧問		金崎 桂悟	
金光八尾	顧問		藤井 康宏	
金光八尾	高2		西山 雄基	D
金光八尾	高2		太田 篤	E
金光八尾	中3	新	下浦 萌香	F
金光八尾	中3	新	北野 凜	A
八尾RC	RC		坂本 憲治	
八尾RC	RC		山本 昌市	
八尾RC	RC		田中 康正	
八尾RC	RC		植 健次	
八尾RC	RC		三木 康正	
八尾RC	RC		澁谷 登志和	
八尾RC	RC		稲田 賢二	
事務局	RC		栗正 久美	

インターアクター 61 (内、新入部員26)  
 ロータリアン 21  
 顧問 15  
 事務局 1  
 総勢 98



## 新入生歓迎会

相愛高等学校3年生 中村紗知子

六月六日、羽衣で新入生歓迎会がありました。始めは皆緊張した面持ちで、挨拶すらぎこちない様子でしたが、クイズ大会や自己紹介で、バーベキューを通して、いつの間にかみんなの顔には笑顔が見られ、別れ際には誰もが口をそろえて「また、参加したい」「楽しかった」と言っていて、私自身もそう思いました。私が今回一番苦労したなあと思ったのはチーム対抗のクイズ大会です。集合場所の前に広がる大きな浜寺公園からクイズの問題は出されていて、私のチームは結構手こずりましたが、結果、最も正解率が高かった事で、アイスクリームを景品にもらいました。いつも食べるアイスクリームなのに、この日はみんなと一緒にだったし、頑張った分、とても美味しく感じられました。バーベキューもみんなで後片付けまでして、たくさんの思い出が作ることができました。何事もじぶんから行動し、困った時には助け合うという事を学べて、新しい友達もでき、とても充実した一日になりました。これからまた、このような行事があるなら、積極的に参加したいなあと思いました。良い思い出をありがとうございました。





## 新入生歓迎会に参加して

清風高校2年 生田 啓之助

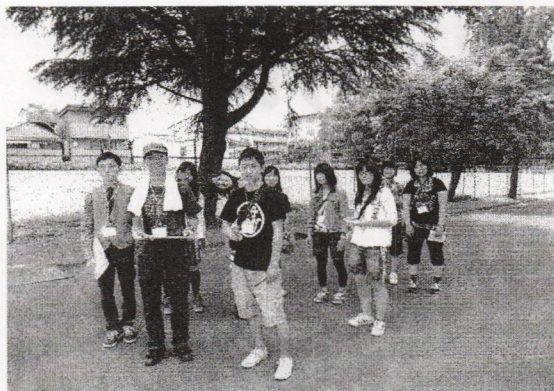
僕は、今年の新入生歓迎会に初めていきました。何故ならば今年からインターアクトに入ったからです。僕はこのインターアクトには友達から誘われて入りました。新入生歓迎会は多くの学校から同じ部活の生徒が参加しました。普段学校では味わえない環境は新鮮で感慨深かったです。

ほとんど他校の生徒と交流がなかったので良い意味での刺激をたくさん受けられ、貴重な経験となったと思います。

内容はと言うと、10人ほどの班に分かれてオリエンテーリングやバーベキューをやるというものでした。初対面の人と協力することは非常に大変なことだと思いますが、うまく協力できたことだと思います。

僕はインターアクトに所属できて本当にプラスになったと思います。色々な人と触れ合い、様々な価値観や環境を知ることができて、他の仲間や先生には本当に感謝です。

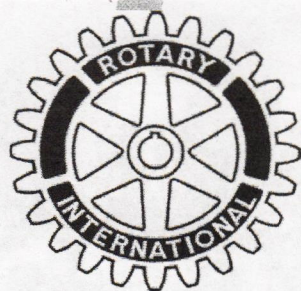
もっと活動したいとも思いましたが、今年までしか参加出来ないのが残念でした。ですが終わりは必ずくるので、割り切り、この経験を大切に、次に繋げたいです。





RI 2660 地区  
インターアクト  
海外研修

2010年8月6日～8月9日  
韓国ソウル





# 国際ロータリー第2660地区 インターアクトクラブ 海外研修 韓国（ソウル） 4日間

日次	月日曜	発着地/滞在地名	発着現地時間	交通機関名	摘要	食事
1	2010年 08月06日 (金)	関西国際空港集合  関西国際空港発 金浦国際空港着  ソウル	09:30  11:55 13:40  午後  夕刻	KE2726  専用車	関西国際空港4階国際線団体受付カウンター (空港内の特別室にて結団式を致します。)  関西空港にて出国手続後、 空路、大韓航空にてソウルへ 金浦国際空港到着。 入国手続後、 専用車にて 統一展望台 自由の橋にご案内致します。 ホテルへチェックイン。 夕食：宮の朝「個室」にてカルビ料理（食べ放題） をご賞味下さい。 夕食後、交流会に備えて、準備及びリハーサル (ソウル泊)	機      夕
2	08月07日 (土)	    ソウル	09:00 12:00   12:30 13:30  14:00 16:30  17:30 20:00	専用車	朝食：ホテルにて  インターアクト交流会 ホスト校：Hanyoung 外国語高等学校 専用車にて学校訪問にご案内致しております。 現地インターアクトと行動   昼食：ホスト Hanyoung 外国語高等学校   インターアクター奉仕活動(養護施設シナウオン)  R1D3650 ロータリアンとの交流会+ ホリディン城北ホテル、バンケットルーム (アイリス宴会場)にて 洋食コース料理食事会&交流会を実施。 (ソウル泊)	朝        昼     夕
3	08月08日 (日)	    ソウル	08:00  10:00  11:00 14:30  15:00 16:30  17:30 19:00 19:30	専用車	朝食：ホテルにて 専用車にてソウル市内観光にご案内致します。 韓民族村観光にご案内致します。 現地インターアクトと行動。   昼食：各自、自由食にてお楽しみ下さい。 ソウル市内(明洞)にて自主研修   JUMP公演 (ソウル発「JUMP」! 1-E7と武術で観客を魅了。 世界中から注目をされている。)  夕食：R1D3650ホスト 歓迎夕食会 (AW Convention Center)  終了後、専用車にてホテルへ (ソウル泊)	朝        昼     夕
4	08月09日 (月)	ソウル市内  金浦国際空港発 関西国際空港着	午前  16:35 18:15	専用車  KE2727	ホテルにて朝食 専用車にて昌徳宮(世界遺産)、南大門市場に ご案内致します。 昼食：金剛山にてブルコギ料理(1.5人前) をご賞味下さい。 専用車にて金浦国際空港へ、 金浦国際空港到着。 出国手続後、 空路、大韓航空にて なつかしの日本へ 関西国際空港到着。 入国手続後、 無事解散 ♪♪	朝    機





2010年度 IA海外研修(D3650:韓国) 参加者一覧表

清風中学・ 高等学校	顧問	中村 明夫
	高2	清水 哲
	高2	足達 佑
	高2	生田 啓之助
	高2	高畑 勝司
	中3	木村 領介

四天王寺 高等学校・ 中学校	顧問	白崎 貢
	中3	西澤 明日香
	中3	山田 奈津美
	高2	藤川 由里
	高2	潮田 誠美
	高2	西川 理菜
	高2	小西 みのり
	高2	福井 晴那
高2	増田 礼子	

大阪桐蔭 高等学校	顧問	瀬島 奈保子
	高2	小野 陽子
	高2	佐藤 衣美
	高2	玉井 志保里
	高2	山本 有香

金光八尾 高等学校	顧問	前田 裕子
	高2	西山 雄基
	高2	太田 篤
	高1	井村 隆太
	高1	桐石 陽介

浪速中学・ 高等学校	顧問	木村 智子
	顧問	山口 敦子
	顧問	八木 信男
	高2	藤田 真希
	高2	米澤 亜佳莉
	高2	福本 真奈
	高2	司波 睦子
	高2	宗 彩芽
	高2	小嶋 優
	高2	野見山 豊
	高3	藤田 築
	高3	二宮 隆行
	高1	山下 鈴奈
	高1	菅 唯菜

相愛中学・ 高等学校	顧問	川西 清史
	高3	森内 友梨恵
	高3	坂東 亜衣子
	高3	桑原 紗英
	中3	吉倉 ひなこ
	中3	梶 礼美

ロータリアン

大阪西南RC・直前ガバナー	大谷 透
大阪阪南RC・地区IA委員長	谷野 清孝
大阪住吉RC・地区IA委員	西尾 良一
八尾RC・地区IA委員	田中 康正
大阪住吉RC	板垣 美一
大阪阪南RC	河野 利紘
大阪阪南RC	高木 正夫
大阪阪南RC	渡邊 猛
八尾RC	植 健次
大阪住吉RC・ガバナー補佐	泉 博明
大阪住吉RC・会長	川上 富清
大阪住吉RC・直前会長	中澤 章好
ガバナー事務所	栗正 久美



## ハンヨン高校訪問 大谷直前ガバナー挨拶

RI 2660 地区、直前ガバナーの大谷透 でございます。ガバナーの期間中に IAC の皆さんと一緒にこのような海外研修に参加したかったのですが、忙しくて参加できませんでした。ガバナーの任期を終えた今、参加する事が出来て大変嬉しく思っています。

特に今回は、全 PG に大変お世話になり、南大門 RC が提唱なさっているハンヨン高校 IAC の皆様方と交流することが出来て、非常に嬉しく思います。ここに改めて全 PG を始め南大門 RC の方々に深甚の謝意を表します。

IAC の目標は RAC と同じで、一言で云えば Fellowship through Service です。奉仕の精神を養いつつ、良い友達を作る事です。今、国際 rotary が掲げている国際奉仕の最優先事項は「End Polio Now」です。しかし、今 韓国や日本で若者の死亡率を一番高くしている病気は何でしょうか。それは ポリオでもマラリヤでも結核でもありません。心の病です。心の病が高じて自殺へと追いやられてしまうのです。原因は何でしょうか。それは人と人の間に関りが無いからです。

愛がないからです。愛の 反対は憎しみではありません。無関心なのです。“自分がこの世にいなくなっても、世間は誰も気にしない”とか、“自分には嬉しい時に共に喜び、悲しいときに共に泣いてくれる友達がいらない”となると 寂しくはありませんか？人間は 1 人では生きてゆけない動物ですから、無関心の中の自分は次第に心が病に侵されてゆくのです。ロータリーは次の時代を担う若者たちが健全な社会人に、品位ある国際人に成長することを願い、これを支援するために、IAC や RAC 等のプログラムをもっています。このロータリーのプログラムを通じて、先ず皆さんは“嬉しい時に共に喜び、悲しいときに共に泣ける” よい友達になることから始めてください。ロータリーのプログラムの中で良い友達が出来ると自然とリーダーシップや奉仕の精神や品格が身についてくるのです。

ロータリーのプログラムに参加し、それを楽しんでいると、よい友達が出来るとは。だから 先ず 今回の国際交流を楽しみましょう。挨拶を終わります。有難うございました。



## 海外研修 1日目

相愛高等学校 板東亜衣子  
桑原 紗英

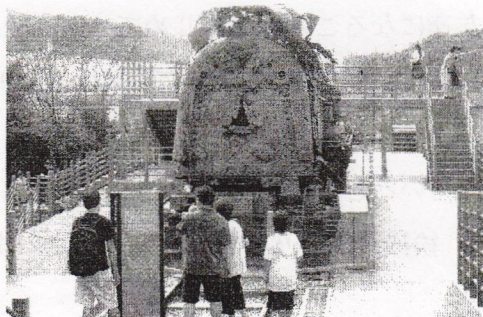
8月6日から9日まで、インターアクトクラブの海外研修で韓国へ行きました。

1日目は関西空港でロータリアンの方々に見送られソウルに旅立ちました。ソウルに着いてから、まず京義線長湍駅の蒸気機関車の見学に行きました。この機関車は朝鮮戦争の最中に爆弾の被害にあい脱線した後、半世紀以上の間非武装地帯に放置されていた南北分断のシンボルです。機関車の車体に残っている1020余りの銃弾の痕とねじれた車輪を見て、当時の悲惨で残酷な状況がすごく伝わってきました。次にオドゥサン統一展望台へ行きました。統一展望台からは、北朝鮮の自然や住民のくらしが手に取るように直接見られます。また北朝鮮の様子を映した映像を通じて文化面の考察ができ、また700点の北朝鮮の物品と展示パネルを通じて、北朝鮮の実状を確認することができました。屋外では国境の向こう側に広がる北朝鮮を直接みることができ、韓国と北朝鮮の距離の近さに驚きました。

その後、カルビ料理を食べ、その美味しさに驚きました。私たちと食肉の歴史が異なるのだと思いました。

ホテルに戻り、翌日現地インターアクター達との交流会に向けてスタントの練習をして、1日目は終わりました。

最も近い外国でありながら、文化の質が大きく異なっていることが大きな刺激となりました。顔が似ているからと思い同じように考えているとは思わない方がいいのだということも肝に銘ずるようにしたいと思いました。





## 海外研修 1・2日目

四天王寺高校 福井晴那  
増田礼子  
小西みのり

今回の海外研修は私にいろいろなことを教えてくれました。1日目は、自由の橋とオドゥサン統一展望台へ行きました。そこでは北朝鮮の現状、朝鮮戦争による影響、そして同民族として朝鮮統一を願う人々がいることを知りました。今まで北朝鮮は悪いイメージが強かったのですが、亡命するほど苦しい国民の生活や休戦ラインによって、家族が離ればなれになったことなどを聞き、かわいそうだと思います。韓国も北朝鮮も同時期に朝鮮戦争を体験したのにこんなにも時代の流れに差があることを改めて知り不思議な気分になりました。

2日目は現地の高校生との交流が中心でした。その高校は、とても広く施設が充実していて、高校とは思えないほどでした。韓国の生徒たちは話しかけやすく優しくとてもフレンドリーでした。その日の夜は先ほどの高校生も参加した交流会を兼ねた食事会が行われました。食事も美味しかったですが、なんといっても私が一番思い出に残っているのは、四天王寺の部員で踊った「南京玉すだれ」です。自分たちから申し出たことだったので、忘れられてしまっているのではないかと、など思いをめぐらせ中止を覚悟していましたが、発表の場を3回（養護学校と2回の交流会）も与えていただいて本当にうれしく思いました。今回の研修が教えてくれたこと、それは世界の現状を知る大切さ、世界に友人を作る喜び、仲間と何かを成し遂げる楽しさです。このような機会を与えてくださったロータリアンの先生方、顧問の先生方、そして両親に感謝いたします。





## 海外研修 2日目

浪速高校2年 小嶋 優

8月7日、この日僕たちは韓国のソウルにあるハンヨン外国語高校という学校に行きました。韓国の人々と話をするのは初めてだったので少し不安でしたが、実際に話をしてみると、ハンヨン外国語高校の生徒の人達は積極的で英語の発音もとてもきれいでわかりやすかったので、返答に時間がかかることもありましたが、彼らとの会話はとても楽しかったと思います。この時、僕は言いたいことがうまく伝わらないもどかしさを感じました。僕は英語が少し苦手なのでうまく言葉を英語で表現できないので余計にそういう気持ちになりました。そういう時は、ジェスチャーなどで伝えたいことを伝えたりしました。

午後からは、シナウォンという養護施設で知的障害のある方と一緒に部屋やトイレの掃除などをしました。この時はハンヨン外国語高校のインターアクターと交流したときより言葉が伝わらなかったのが、ほぼジェスチャーでコミュニケーションをとりました。

夜は、ホテルに戻ってハンヨン外国語高校のインターアクターとコース料理を食べました。この時、あまり会話ができなかったのが少し心残りです。

この韓国での海外研修を通じて、僕は世界の大きさというものをあらためて実感しました。できれば、この韓国での経験をこれからの生活に活かしていきたいと考えています。

最後になりましたが、このような機会を与えてくださったロータリアンの先生方、お世話になった顧問の先生方ありがとうございました。





## 海外研修 3日目

大阪桐蔭高校 1年 玉井 志保里

終業式が終わってすぐ、韓国へ国際交流を目的とした海外研修に行きました。韓国では日本ではできない体験をすることができました。

私が韓国で体験したことで一番印象的なことは、3日目にソウル市内観光をしたことです。ソウル市内は歩く道の至る所にお店があり、様々なものが日本よりもはるかに安い値段で手に入ったり、日本では売っていないものがたくさんありました。ソウル市内は韓国人のインターアクターと日本人の、5、6人のグループで周りましたが、韓国人のインターアクターは私たちが行きたいと思う所を考えてくれて、韓国で人気のある店にもたくさん連れていってくれました。ソウル市内では韓国で人気の食べ物を食べて辛さを満喫したり、韓国のインターアクターのおかげで韓国をよく知ることができてよかったです。また、韓国に行って一番良かったことは、韓国のインターアクターと交流することができたことです。韓国のインターアクターは全員が英語を話すのが上手かったのに対して、私は片言しか話すことができなかったのも、彼らの話してくれていることが分からないことがよくありました。でも、そんな私に対して優しく接してくれたので本当にうれしかったです。





## 海外研修 3日目

清風中学3年 木村 領介

3日目、雨の様子は完全に去り外はカラカラの夏陽気、日本も韓国も変わらない事を実感しつつバスに乗車。バスでは現地の学生も合流していつにも増して元気であった。それにしても擲さんは元気だ。今までの3日間、ずっと疲れている様子が全くない、テンションが高ぶっている輩を相手にここまでやるとは、外国女性の強さを見たような感じがした。

民族文化村はとにかく、見渡す限り文化的な物ばかり、皆さんは文化的な物は退屈のようでしたが、私は顔に出していないですけど内心、韓国の文化に興奮していました。明洞と云う街は人ばかり、とにかく人がたくさんいて困った。驚いたのは街中に軍人がいたことだ。中士の階級章の迷彩服の軍人、束の間の休日にデートをしていた。日本では見られない光景だ。明洞から離れる時、現地の学生とはここまでだ。泣いている生徒もいたが、友人ができなかった私としては不思議な心境だ。

明洞を離れてバスに揺られて数分、次は jump の公演だ。実を言うと最初は余り期待していなかった。しかし、それはすぐに誤りだと気付いた。旅行中で一番の思い出に変わったのだ。内容はお話しできませんが、とても面白かったです。女性陣は娘の婿役の男の人にキャーキャー、私は娘役の人にキュン、高ぶる感情を抑えるのはとても、辛かったです。

jump の感動が覚めやまぬまま、私たちは南大門ロータリークラブ主催の晩餐会の会場に向かいました。途中、韓国の大統領官邸である青瓦台の近くの広場で休憩を取った。青瓦台の近くは安全保障上、撮影は禁止で写真は撮れませんでした。真っ青なあの瓦は今だに覚えています。

晩餐会の会場、私はこれほどダブルのスーツを着ていてよかったと思ったことはないくらい豪勢なものであった。

まず、南大門のロータリアンの先生方の挨拶を聞いた後、食事が出て来ました。辛いものはもうこりごりと思っていた私としては韓国風中華料理はキツかったです。

それにしても、3日目は朝から晩まで本当に中身の詰まった1日だったと思います。この一日で学んだことはたくさんあります。まず、語学の重要性。文化の違い。そして、韓国料理は辛い。この3つは今でも、私の胸に深く刻まれています。



## 海外研修 3日目

清風高校2年 清水 哲

海外研修3日目、ホテルでハンヨン高校のインターアクター達と合流してバスに乗り韓国民族村へ向かいました。昨日初めて会った時の緊張は無く、冗談を交えながら楽しく会話ができたと感じます。民族村では韓国の伝統的な文化・習慣・建造物等に直に触れる事ができ、異国であるはずなのにホッとさせる懐かしい思いに浸りました。

その後、明洞の繁華街を観光しました。繁華街の規模の大きさに圧倒され、迷子になりかけたこともありましたが、韓国のインターアクターと昼食を相談して決めて食べたりショッピングをしたり一緒に写真を撮ったりと楽しむことができました。

そしてお別れの時。たった二日間でしたが、交流を通して私達はとても仲良くなりました。寂しさで胸が一杯でしたが、またいつか必ず会おうと約束をし、明洞をあとにしました。その後、私達は韓国政府周辺の公園を散策し、世界中から絶賛されているという JUMP の公演を見に行きました。個性豊かな武道派一家の物語、華麗なアクションやダンスに魅了されました。韓国語がほとんど使われず、その分さまざまな工夫が施されており国籍に関係なく楽しめるものでした。

JUMP 公演の後は韓国のロータリーの皆様のご厚意で予定を変更して歓迎会が行われました。中華のフルコースを頂きながら日本と韓国のロータリアンのお話を聞いたり浪速高校の雅楽演奏や四天王寺学園が南京玉簾を披露したり写真撮影を行いました。とても緊張しましたが、韓国の皆様のおもてなしの心に感動しました。また、自分も将来ロータリアンになるという思いをより一層強くしました。歓迎会が終わりバスでホテルまで戻りましたが、すぐに眠りにつきました。

3日目は1日中動きっぱなしでとても内容の濃い1日でした。普段の学校生活では経験しない事をする喜びと感動に満たされました。





## 韓日インターアクト交流会 ご挨拶

大阪住吉ロータリークラブ 会長エレクト・地区インターアクト委員 西尾 良一

皆さまこんばんは。この度はR I 2660 地区インターアクト海外研修でこのような晩さん会を催していただき、誠にありがとうございます。R I 3650 地区 パクガバナー始め、ロータリー会員の皆様方に心よりお礼申し上げます。

姉妹クラブのソウル中央RCの皆様方におかれましては、この様な盛大な晩さん会に大阪住吉RCの会員が昨日までは川上会長、泉ガバナー補佐も含め6名が参加していましたが、本日は所用の為2名になってしまいました。誠に申し訳なく思っております。

R I 3650 地区の2日間の晩さん会はインターアクター達にとって、有意義で忘れることが出来ない思い出となる事でしょう。本日は民俗村を見学し、勉強をしてまいりました。インターアクターが両国の文化・歴史を尊重して、さらに両国の発展をインターアクターに託したいものです。本日は誠にありがとうございました。





## 韓日インターアクト交流会 ご挨拶 (8月8日)

2009-2010 年度ガバナー 大谷 透

紹介を受けました大谷透でございます。この度はガバナーの任期中には経験の出来なかつた素晴らしい経験をすることが出来て、感謝しています。今回の我々の地区のインターアクト海外研修が実現できたのは、今晚 この席にご参席くださいました 李東建 前国際ロータリー会長や、全 淳杓 前ガバナー、朴 憲令 南大門 RC 会長、そして、ハンヨン外国語高校 李択輝校長先生をはじめ南大門 RC 会員の皆様の大変な好意によるものでございます。ここに改めて心から感謝申し上げます。特に朴泳求ガバナーを始めソウル中央 RC の皆様方にはこのような立派な晩餐会を開催して下さいまして、心からお礼を申し上げます。

私は 8 月になりますといつも心が暗くなります。6 日には広島にそして明日の 9 日には長崎に原爆が落とされ、15 日には敗戦の日を迎えたからです。

韓国では光復節と云って、光が復活した記念日ですが、我々にとっては多くを反省しなければならぬ記念日です。今日の午後、時間の都合をつけて日本軍が政治犯（これは韓国では愛国者なのですが）を処刑した西大門刑務所を見てきました。我々の歴史を反省するためであります。6 日の広島での平和記念式典には韓国出身の播基文 国連事務総長も参席下さり、核拡散防止の重要性を訴えられました。しかし、終戦から 65 年も経つと、今の高校生達の両親も戦争を知らない世代となりました。そして広島での平和記念集会を左翼の集会だと批判したり、原爆の記念碑に「あやまちは二度と繰り返しません」と刻んである文章を、主語が誰か分からない不完全な文章だと批判する人物も出て来ました。しかし、主語がなくても通じるのが日本語です。そして、これは全ての人が主語となるべきで、あらゆる主義主張を超えて、このようなことが二度とあってはならないことを全世界に訴えています。

今日見てきた刑務所も展示も、広島原爆記念館の展示も、誰かが誰かを声高に非難するのではなく、ただひたすら、このようなことが 2 度と起こらないようにとの祈り心をもって、節度ある態度で展示がされてあるので、原爆記念館を訪れたアメリカ人も、そして西大門刑務所を訪れた日本人も、心を打たれるのだと思います。

我々がソウルに来た 6 日には、北朝鮮が見える展望台や自由橋を訪れ、平和の大切さをかみしめました。今日の午前中は民族村で両国のインターアクター達は韓国の歴史を学びながらお互いの友情を育むためにはどうしたらよいかを考える機会が与えられました。韓国は日本にとって一番近い国ですから、これからも世界平和のためにもっと仲良くなれることを願います。



## 海外研修 3・4日目

大阪桐蔭高校1年 佐藤衣美

韓国へ来てすぐに3日目になった。3日目は、朝から韓国民族村へ行った。そこでは、私たちインターアクター2、3人と現地のインターアクター1人で行動した。韓国民族村では、百年程前の韓国が再現されていて、現地のインターアクターと見てまわるのがとても楽しかった。また、そのインターアクターたちは、私たちに百年前の韓国についてひとつひとつ丁寧に英語で教えてくれた。英語にあまり慣れていない私たちにとても親切にしてくれたと思う。また、午後からは同じグループで明洞で自由行動をした。途中でグループ以外の人とも一緒になったがそれでもとても楽しかった。明洞はどこへ行っても人ばかりでとても楽しい場所だった。昼食は現地インターアクターのお勧めのお店に行った。見るからにとっても辛そうだったが、一口食べてみるととても美味しく、友達と一緒に楽しく食べた。でもあまりに辛くて、涙も汗もたくさん出てきたが、それはそれでよい思い出。そしてその後たくさんのお土産を買い、ミュージカルの「JUMP」を観た。言語は韓国語だったが全く気にもならず素晴らしいパフォーマンスに圧倒された。ミュージカルの後は韓国のロータリーの方々が用意して下さったお食事会だった。たくさんインターアクターと交流することができ、とても楽しい時間だった。

そしていよいよ4日目。午前の世界遺産の昌徳宮を観光した後、南大門市場へ行った。ここも、明洞と同じくたくさんの人々が集まっていて友達と買い物するのがとても楽しかった。その後昼食を食べた後に解団式を行った。韓国へ来る前の楽しみだった気持ちを思い返すと、とてもさみしい気持ちがした。日本に帰りたくないとも思った。そして飛行機に乗って日本に無事に帰国した。

ロータリーの皆様、そしてこの海外研修にかかわって下さった全ての人々に感謝したいと思う。このような貴重な体験は決して忘れない。この海外研修で、私はたくさんの人と友達になった。今回一緒に行ったインターアクターたちだけでなく、韓国のインターアクターともだ。このような友達も一生大切にしたいと思う。

本当にありがとうございました。





## 海外研修 3・4日目

大阪桐蔭高校 山本有香

8月6日～9日まで3泊4日、韓国に海外研修に行きました。私は3日目と4日目のことについて書きたいと思います。

3日目はまず韓国のインターアクターと一緒に明洞に行きました。私のグループは3グループが一緒になって行動しました。明洞では、プリクラを撮ったり、とても長いソフトクリームを食べたり、コスメやアクセサリーを見たりしました。韓国では物価がとても安いので夢中になって買い物をしました。お昼には、石焼きビビンバを食べました。あまり辛くないものを選んでくれたと思うのですが、やっぱり辛くて何回も水を飲みました。最後に写真を撮って二日間一緒に過ごしたインターアクターとのお別れの時間です。泣いている人もいた二日間ではありましたが、とても仲良くなれて素晴らしい思い出が作れたことを実感しました。

明洞を出発してから、次にJUMPを観に行きました。始まる前は言葉が分からないし、多分笑えないだろうと思っていました。しかし、公演はとっておもしろく、言葉の違いは関係ありませんでした。笑いもあればテコンドーのかっこよさもあり、とても楽しい時間を過ごすことができました。その後は、韓国のロータリークラブの方々主催の食事会で、中華のコース料理を食べに行きました。おいしい料理ばかりでとても満足できました。他校の生徒とも同じテーブルで食べたので仲良くなれ、良かったです。3日目は、いろいろなことがあって疲れたけど、とっても充実した一日でした。

4日目は、今日で日本に帰るといふ寂しさと喜びが半分ずつありました。まず昌徳宮の見学に行きました。とても大きくて迫力がありました。ガイドさんから聞いた話もとてもおもしろかったです。

海外研修の最後のプログラムとして南大門市場へ行きました。見学時間は短かったけど買い物もしました。南大門も賑わっていてお店の人が日本語を話せることに驚きました。いろいろな屋台もあって楽しかったです。

この海外研修では、普段経験できないようなことをたくさん経験させていただき、また他の国の人と交流する楽しさも教えてもらいました。他校の生徒さんとも仲良くなることができ、とても良い海外研修になりました。

このような機会を与えてくださったロータリアンの方々、先生方にとっても感謝しています。ありがとうございました。





## 海外研修 3・4日目

大阪桐蔭高校 1年 小野陽子

インターアクトクラブ海外研修3日目、前日に顔合わせをした韓国のインターアクター達と一緒にソウル市内観光に行きました。まず最初に向かった韓国民族村では、百年前の韓国人の人々の暮らしが再現されていて、昔の人々の生活を肌で感じることができました。中には、結婚式の様子を再現した展示や、刑務所の様子を再現した展示などもありました。また一緒に行動していたメンバーのみんなと、韓国版のすごろくのような遊びを韓国のインターアクターにやり方を教わりながらしました。私たちのチームは負けてしまいましたがおもしろかったです。

その後、明洞で3時間ほど自由行動の時間がありました。明洞は本当ににぎやかで楽しい町でたくさんの人で溢れていました。一緒に行動していたみんなとプリクラをとりに行ったり、お昼ご飯に私たち日本人にとっては“とっても”辛く、韓国人にとっては全然辛くないチキンの鉄板焼きを食べたりとても楽しいひと時を過ごすことができました。現地のインターアクターと連絡先を交換し合ってから別れた後、「JUMP」公演を見に行きました。「JUMP」はソウルのガイドブックをみれば必ずと言っていいほど特集されているようなとても有名な公演で、出発前から観るのをとても楽しみにしていた公演でした。公演は最初から最後まで驚きと笑いの連続でした。同じ人間の技とは思えないたくさん人のアクロバット技が目前で次々と決められていき、さらにお客さんも巻き込んでのショーなど、本当に瞬きをするのも忘れてしまうくらい迫力満点のショーでした。

夕食は南大門ロータリーの方々が用意して下さった歓迎会で中華料理をいただきました。

4日目は昌徳宮をガイドの方に案内していただいた後、南大門市場に行きました。南大門市場では、見たことのない食材などがたくさん並んでいて、ここも明洞と同じようににぎやかな場所でした。

その後、お昼ご飯にブルコギ料理をいただいた後、解団式を終え日本へと帰りました。

今回の海外研修で私たちは本当に多くの体験をすることができました。この経験をこれからの自分に多くに生かしていきたいと思えます。支えて下さった先生方、このような機会を用意して下さったロータリーの方々には本当に感謝しています。





## 海外研修 4日目

金光八尾高等学校 2年 西山 雄基

今年僕はインターアクトクラブの海外研修に参加しました。8月6日、ソウルへ向けて、日本を飛び立ちました。関西国際空港では何とも言えない緊張感があり、忘れ物はないかと不安もありましたが、僕は人生で初めて日本を出ました。この研修は3泊4日だったのですが、最終日の8月9日について書きたいと思います。

この日は朝、ホテルで専用のバスに帰りの荷物を積み、世界遺産の昌徳宮の見学に向かいました。ここではガイドさんが、門の屋根の上の飾りや、宮殿の四方にあった四聖獣について説明したり、ハングル文字を作った世宗がハングルの制作研究などを行っていた建物などを案内して下さいました。同じアジアであり、中国の影響もあったためか、以前旅行で見た沖縄の首里城にも似ているところが結構ありました。でも、オンドルが備わっていたのが韓国だなと思いました。次は、南大門市場へ行きました。南大門自体は残念ながら、放火で焼けてしまい、周りを柵で囲まれた状態でした。賑やかな通りを友達とともに散策し、お土産として韓国のりなどを買いました。あるお店で、朝鮮人参の寒天のようなものを試食してみました。店員さんの言うとおりの体には良さそうでしたが不味かったです。少しの間、菓の味がとれませんでした。その後の、昼食のプルコギがとてもおいしく感じられました。昼食会場で解団式が行われ、ソウルにこれて良かったなと実感しました。キムチ専門店など2カ所でお土産を買い、自分の荷物が行方不明になるというハプニングがありましたが、友達のもの、入れ違っていたことが分かりました。金浦空港でガイドさんとお別れし、関西国際空港に無事到着、日本に帰国しました。

この海外研修では、とても多くの事を学ぶことができました。不注意なことも多く、英語があまりしゃべれなかったことがとても残念でした。また、最近の話題にもついていけなかったりもしました。次の機会につなげたいと思っています。このような機会を与えてくださった多くの方々に感謝しています。





## 海外研修を終えて

浪速高等学校3年 藤田 築

8月5日、私たちは幹事校ということもあり、期待と不安を胸に関西空港に集合しました。そこで、相愛、清風、金光八尾、大阪桐蔭、四天王寺、浪速の各学校のインターアクター、顧問の先生、ロータリアンの方々が、結団式を行いました。そして、たくさんのロータリアンの方々に見送られ、韓国に出発しました。

金浦空港までは距離が近かったこともあり、朝に出発して、昼間に到着しました。そこでは韓国のロータリアンの方々がお出迎えをしてくださいました。

1日目には統一展望台に行きました。目の前に北朝鮮が眺められる場所であり、南北問題のこともあり同じ民族、同じ家族でさえも離ればなれになっていることを考えると、とても悲しく感じました。

2日目、3日目は韓国のインターアクターとの交流を通じて貴重な体験をさせていただきました。2日目の午前中は韓国の高校を訪れた際に、韓国の生徒達と食堂で昼食を食べながらわずかながらも会話したり、プレゼント交換でコマや輪投げ、扇子などをあげて遊んだりしました。うまく会話が出来なくても楽しむことができました。障害者施設では、韓国の生徒達と共同ボランティア活動として、トイレや階段を掃除しました。障害者の方と英語で会話するなどして貴重な経験が出来ました。

3日目には、韓国のインターアクターと一緒に韓国民俗村を訪れました。ここでは、韓国人のインターアクターが説明してくれたおかげで韓国の昔の生活様式を理解することが出来ました。他には韓国で有名な東洋武術をベースにしたアクロバティックな演技と小劇場のコミカルな笑いが共存する舞台、「JUMP」を見に行きました。とても面白かったし、日本人でも雰囲気の内容をつかむことができると感じました。

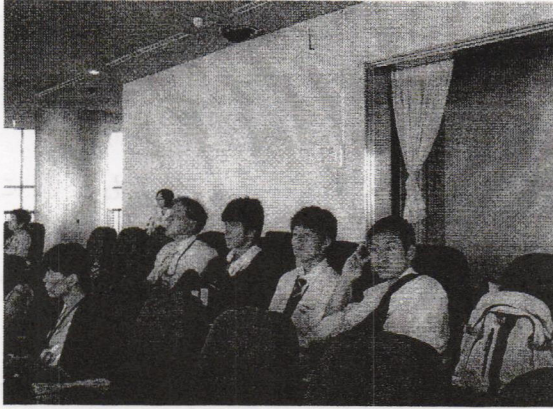
最終日には朝鮮王朝最後の正宮とされた景福宮と韓国で有名な市場である南大門市場に行きました。景福宮は力強く、また精密に作られていてその大きさに圧倒されました。

南大門市場ではキムチや韓国のりをたくさん買いました。他にも小物用品から洋



服、小物など何でも手に入れることができるぐらい様々な商品が売っていました。

韓国料理は比較的日本人の口に合うなと思いました。カルビ、プルコギ料理は格別でした。韓国はまた訪れたいと思いました。海外研修は2度参加させていただきましたが、とても有意義でめったに経験できないことをさせていただきました。このような機会を与えてくださりロータリアンの皆様に感謝申し上げます。





## インターアクト海外研修を振り返って

2009-2010年ガバナー 大谷 透

地区インターアクトの海外研修は、いつも地区委員の方々にお任せして、ガバナーは空港での送り迎えのみの参加であった。昨年はインフルエンザのため中止の憂き目を見たので、それも叶わなかった。2010年8月の韓国ソウルでの海外研修は、ガバナー任期も終え、時間の都合もつけることが出来たし、横山 PG-李東建 RI 会長のお世話で成立した企画なので、ガバナーレベルの者が1人くらい随行するのも礼に適うと思い、参加した。予想通りガバナーやパストガバナー、李東建 RI 会長まで出席くださる歓迎振りであった。

南京玉すだれを始め歌や宮廷雅楽など、インターアクター達も交流に相応しい出し物を準備していたし、顧問の先生方や地区事務局の職員、その他関係各位の行き届いた協力ですべてがスムーズに進行した様であった。特に、旅行社がよく気の付く有能で魅力的な通訳兼ガイドをつけてくれていたのも幸運であったし、“今日の日はさようなら”を韓国語で歌ったのも楽しかった。

最後にソウル空港を発つ前に、空港近くのレストランでの食事会が、反省会も兼ねた解散式となっていたようで、そこでガバナーとして参加した感想を述べさせて頂いた。その時にご苦労さん会であったのでソフトにしか表現しなかったが、大きな反省点を一つ述べた。大切な事なので、もう一度ここに記録としてとどめておきたいと思う。

反省を行う時は先ずミッションを見上げ、今回の行事がその本来の目的に沿っていたかを反省しなければならない。インターアクト海外研修の目的は海外のインターアクターとの「Fellow-ship through service」であるが、ロータリアンとの交流を通して社会人としての品格を身につけるのも大きな目的の一つである。しかし、食事や自由時間など今回のいろいろな場面での設定に関して言えば、あまりにもロータリアンとインターアクターを区別し過ぎていた気がした。企画者が随行ロータリアンに気を遣い過ぎで、もっと随行ロータリアンはインターアクターとの交流のための随行であるから、もっと積極的にインターアクター達と交流の時間を多く持ち、企画者も自然とそれが可能となるようなプログラム設定を考える必要があると思われた。少な



くとも食事の席が顧問の先生、ロータリアン、インターアクターとそれぞれ分かれて設定されるのではなく、交わって食事をし、若者は大人の品格や感性から学び、大人は若い純真な心に接して若返り、互いに影響されるのを楽しんでこそ、ロータリークラブが主催するインターアクト海外研修に相応しいと心得るべきで、年齢の差を超えて両者がお互いにその交流を楽しめるようなプログラムを考えるのが、地区委員の腕の見せ所と思って知恵を絞っていただければ有り難いと思いました。





## 韓国海外研修を終えて

浪速高等学校・関西大学連携浪速中学校インターアクトクラブ顧問 木村智子

昨年の海外研修は新型インフルエンザで中止となったこともあり、今年は何事もなく、無事に出発できることを祈りながら準備を進めてきた。そして、8月6日、ロータリアン9名、インターアクター36名、顧問8名、ガバナー事務所より1名の総勢54名が関西空港に集合した。ロータリアンの先生方、各校の校長先生、教頭先生、顧問の先生や保護者の方々に見送られ無事に大阪を出発した。

韓国までの飛行時間はわずか2時間で、時差もなく、インターアクター達は、金浦空港に到着しても韓国に来たという実感が湧かない様子であった。空港に到着すると、韓国のロータリアンの方々に歓迎をしていただいた。

1日目は統一展望台、自由の橋を見学した。同じ民族でありながら、南北に国が分断され、北と南を自由に行き来することを禁止され家族でさえ何十年も会うことができないというガイドさんの話にインターアクター達は熱心に聞き入っていた。

2日目は、インターアクター達の交流の日であった。午前中はハンヨン外国語学校を訪れた。この高校はソウルでも難関と言われる外国語学校ということもあり、日本語学科の生徒による流暢な日本語での司会で交流会が始まった。交流会では、韓国側からはジャズの演奏が披露され、日本からは「雪の華」の韓国語での合唱、雅楽の演奏を披露した。午後からはシナウォン養護施設を訪れ、日韓のインターアクターで施設内の掃除などの共同奉仕作業を行った。奉仕活動の終了後、施設に入所している障害者の方をお招きし、「南京玉すだれ」を披露した。海外の養護施設を訪れての共同奉仕作業はインターアクター達にとって貴重な経験となったのではないだろうか。また夜は、ホテルに戻り、現地のロータリアン、インターアクターをお招きしての交流会であった。この交流会では、昼間の活動で交流を深めた日韓のインターアクター達が共に「雪の華」を韓国語で合唱していたのが印象的であった。

3日目もインターアクター達の交流は続き、午前中は韓国民俗村の見学、午後からは明洞でショッピングを楽しんでいた。民俗村では韓国のインターアクター達が自国の文化を英語で一生懸命説明している姿が見られた。明洞でのショッピングを終えた頃にはインターアクター達はすっかり打ち解け、お互い覚えてばかりの日本語、韓国語で別れを惜しんでいた。その後、夕刻には韓国のロータリアンの方々に、



「インターアクト交流歓迎会」という盛大なパーティーを開いて頂いた。

4日目は、韓国の王朝時代の王宮である景福宮を訪れ、ハングル文字の起源の説明を受けるなど韓国の伝統文化に触れ、その後、現代の韓国らしさを感じられる南大門市場の見学をし、この日の午後、韓国を後にした。

この研修旅行中、日韓のインターアクターの間でよく話題に上っていたのが、日本の人気アイドルグループやドラマの名前であった。日本でも韓流ブームと言われ、多くの韓国の芸能人が日本を訪れ人気を博している。韓国では、未だに反日感情を抱いている人もいと聞くが、つたない英語を使って一生懸命コミュニケーションをとろうとしているインターアクター達の姿を見ると、この海外研修がとても意義深いものであると改めて感じた。

最後になりましたが、幹事校として色々不手際もあったかと思えます。このような貴重な機会を与えてくださったインターアクト委員長谷野先生をはじめとするロータリークラブの先生方、研修中お世話になりました各校顧問の先生方、旅行社の方々には深く感謝申し上げます。





## 韓国海外研修を引率して

清風学園 IAC 顧問 中村 明夫

昨年予定されていて、諸般の事情で行けなかった韓国への海外研修に、高校生4名と中学生1名、計5名を引率して参加しました。学校が鶴橋から近いので、韓国籍の生徒が普通に本名で通学しており、コリアンタウンへも何度も行っているのですが、いざ韓国に入るのは、生徒も私も初めてでした。

初日に統一展望台へ。すぐそばに見える北朝鮮は、明らかに韓国よりも貧しく、昔訪れたベルリンの東西格差を上回る格差を感じました。同じ半島に暮らす同一民族が分断され、これほど差のある生活をしていることが不思議で、展示も興味深く拝見できたのですが、高校生は海外へ来た空気を楽しんでいる様子。唯一あれこれと予習してきた中学生が、熱心に展示を見て感動しています。早い時期から訪問国が決まっているのですから、もう少しきちんと予習をさせておけばよかったですと後悔しました。高校生たちは南北分断をどのように感じ、考えたのでしょうか。気になるところです。

韓国インターアクターとの交流会の相手は、ソウルでも指折りの進学校の生徒たちでした。日本語を学んでいる生徒もいるとはいえ、主流は英語による交流です。私の担当教科が英語なので、気になりますから、生徒たちの会話を傍らで聞いて回りましたが、やはり韓国の方が英語教育は実用面で優れていると感じました。かなり正確な文法・語法で英語を話します。一方で、べらぼうな文法(?)に則り、単語の連発でなんとか意思疎通を図っている高校生もいるのには、若者ならではの光景だと、頼もしさを感じました。

交流会では浪速の雅楽隊と、四天王寺の南京玉すだれチームが大活躍で、拍手喝采を浴びていました。どちらもかなり練習を積んだようで、日本の歌を韓国語で歌うときも、歌詞カードを見ずに歌う生徒もおり、各校の準備の充実に反省させられることしきりでした。

交流の第二陣である障害者施設訪問では、本校の生徒が一人体調を崩して私は参加できなかったのですが、交流を終えて帰るとき、生徒たちも、また施設のかたも、どちらも本当に別れを惜んでいるようで、充実した交流ができたのだろうと思いました。観光あり、交流ありの、中身の濃い海外研修であったと思います。毎年絶大なご支援を下さるロータリークラブ、日頃多忙を極めておられるのに全行程を同行頂いたロータリアンの皆様、2年越しで準備されてきた浪速さん、連絡調整に奔走された事務局の栗正さん、盛大に歓迎して下さった韓国のロータリアンと高校生たち、そして2660地区に所属する全てのインターアクトの関係者の方々、この貴重な経験を有難うございました。



# 今日の日はさようなら

金子詔一 詞作  
作曲



1. い つ ま で も た え る こ と な く  
2. そ ち ら を と ぼ う と り の よ う に  
3. し ん じ あ う よ ろ こ ー び ー を

1. <sup>オン</sup> 언 <sup>ジェ</sup> 제 <sup>ツカ</sup> 까 <sup>ジ</sup> 지 <sup>ナ</sup> 나 <sup>ヨン</sup> 영 <sup>원</sup> 원 - - - <sup>히</sup> 히  
2. <sup>チョ</sup> 처 <sup>ハ</sup> 하 <sup>ヌ</sup> 늘 - <sup>レ</sup> 의 <sup>セ</sup> 새 <sup>ドウル</sup> 들 - <sup>チヨ</sup> 처 - <sup>ム</sup> 립  
3. <sup>ミ</sup> 민 <sup>ドウ</sup> 음 <sup>ミ</sup> 이 - <sup>ラン</sup> 란 <sup>チユル</sup> 즐 <sup>ユ</sup> 거 <sup>ム</sup> 음 - - <sup>ソ</sup> 솔



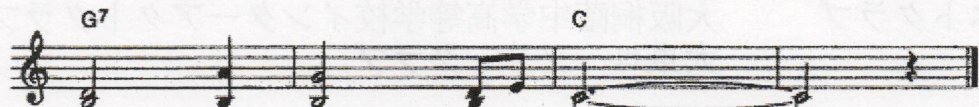
と じ た も だ ち で い よ う  
い ゆ う ゆ い せ つ に い き る  
し よ う

ソ <sup>ジュ</sup> 중 <sup>ナン</sup> 한 <sup>チン</sup> 친 <sup>グ</sup> 구 <sup>ヨ</sup> 여  
チャ <sup>ユ</sup> 유 <sup>ム</sup> 모 <sup>ム</sup> 모  
ウ <sup>リ</sup> 리 <sup>ソ</sup> 서 <sup>ロ</sup> 로 <sup>ヌ</sup> 누 <sup>ム</sup> 무



あ す の ひ を ゆ め み て き  
き よ う の の ひ は さ よ う な な ら ま  
き よ う の の ひ は さ よ う な な ら ま

ネ <sup>イル</sup> 일 <sup>ル</sup> 을 <sup>ヒヤン</sup> 향 <sup>한</sup> 한 <sup>ク</sup> 꿈 <sup>ム</sup> 을 <sup>ウ</sup> 위 <sup>ヘ</sup> 해 <sup>ウ</sup> 우  
オ <sup>ヌ</sup> 늘 <sup>리</sup> 이 <sup>ヨ</sup> 여 <sup>안</sup> 안 <sup>ニ</sup> 념 <sup>안</sup> 안 <sup>ニ</sup> 념 <sup>タ</sup> 타  
オ <sup>늘</sup> 늘 <sup>이</sup> 이 <sup>여</sup> 여 <sup>안</sup> 안 <sup>녕</sup> 념 <sup>안</sup> 안 <sup>녕</sup> 념 <sup>다</sup> 다



ほ た う の み ち を  
た た あ う う ひ ひ ま ま で

リ <sup>ハ</sup> 함 <sup>ツ</sup> 깨 <sup>カ</sup> 감 <sup>シ</sup> 시 <sup>ダ</sup> 다  
シ <sup>マン</sup> 만 <sup>ツ</sup> 깨 <sup>カ</sup> 감 <sup>シ</sup> 시 <sup>ダ</sup> 다  
시 <sup>만</sup> 만 <sup>날</sup> 날 <sup>때</sup> 때 <sup>까</sup> 까 <sup>지</sup> 지



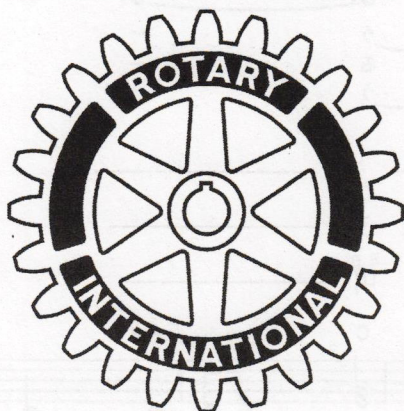
---

2010年度～2011年度 国際ロータリ第2660地区

# インターアクトクラブ年次大会

---

『世界の子供たちに文房具を贈ろう』



日 時 2010年9月26日 (日)

場 所 大阪桐蔭中学高等学校 本館

ホストクラブ 大阪桐蔭中学高等学校インターアクトクラブ  
大東ロータリークラブ



# ターゲット 「世界の子供たちに文房具を贈ろう」

インターアクトクラブは、地域社会に奉仕する活動と国際理解を促進する活動に取り組んでいます。今回、身近なことから国際協力の一助を担おうという意図のもと、世界の恵まれない子供達に文房具を贈ろうという企画をしました。私たちが日頃使用している文房具。世界の恵まれない子供達にとっては、高価な品であり、なかなか手に入らない物です。そこで、机の中で眠っているなどの未使用文房具用品を集めて寄贈したいと思います。私達のこころざしが文房具に託され、世界の子供達に届くことを願っています。文房具を手にした子供達が遠い異国の私たちの思いを受け止め、明るい未来と希望を感じてくれれば幸いです。

※回収文房具（未使用のもの）

鉛筆・消しゴム・ボールペン・ものさし・ノート・ハサミ・糊 など。  
(シャープペンシル除く)

目標：各学校・各提唱ロータリークラブ 併せて計1箱

- ・ 送り先：NPO法人国境なき奉仕団、NPO法人BAJブリッジエーシアジャパンを通じて寄贈します。

寄贈先：ミャンマー

## 参加インターアクトクラブ

清風学園中学高等学校  
浪速高等学校・関西大学連携浪速中学校  
四天王寺中学高等学校  
金光八尾中学高等学校  
相愛中学高等学校  
大阪桐蔭中学高等学校



2010～2011年度 国際ロータリークラブ 第2660地区  
インターアクトクラブ年次大会 プログラム

ターゲット「世界の子供たちに文房具を贈ろう」

9:30	受付・登録開始	大阪桐蔭中学高等学校 司会	木村 祐貴
10:00	開会式 点鐘・開会宣言	RI2660地区IAC代表	小野 陽子
	君が代・IACの歌斉唱	ソングリーダー	渡邊 瞳
	ターゲット発表	RI2660地区IAC代表	小野 陽子
	開会の言葉	RI2660地区IAC委員長	谷野 清孝
	歓迎の言葉	RI2660地区大東RC会長	加藤 敏明
	来賓紹介・参加ロータリークラブ紹介・学校紹介	RI2660地区大東RC・IAC委員長	中野 秀一
	来賓祝辞	RI2660地区ガバナー	松本新太郎
	来賓祝辞	RI2660地区パストガバナー	吉川 謹司
	幹事校校長挨拶	大阪桐蔭中学高等学校校長	森山 信一
	各校インターアクトクラブ活動報告		
	海外研修の報告	海外研修幹事校 関西大学連携浪速中学高等学校	
11:10	講演	国境なき奉仕団理事長代理	松本 秀作
12:00	演奏会	大阪桐蔭吹奏楽部	
12:40	昼食		
13:30	文房具梱包・メッセージカード作成		
14:30	閉会式 講評	RI2660地区ガバナーエレクト	岡部 泰鑑
	次年度ホストクラブへ引き継ぎ	大阪桐蔭中学高等学校→相愛学園中学高等学校	
	閉会宣言・点鐘	RI2660地区 IAC代表	小野 陽子
15:00	解散・片付け		



2010~2011年度

# 国際ロータリー第2660地区インターアクト年次大会

●参加者名簿

清風学園	顧問	中村 明夫	
清風学園	顧問	高橋 達矢	
清風学園	顧問	儀満 光治	
清風学園	高2	安達 佑	A
清風学園	高2	高畑 勝司	B
清風学園	高2	清水 哲	C
清風学園	高2	生田 啓之助	D
清風学園	高2	足立 麟太郎	E
清風学園	中3	木村 領介	F
清風学園	中3	中川 弘陽	A
清風学園	中3	北岡 呂真	B
清風学園	中3	内田 裕己	C
清風学園	中3	川端 太喜	D

相愛	顧問	川西 清史	
相愛	顧問	松本 多加	
相愛	高3	桑原 紗英	E
相愛	高3	坂東 亜衣子	F
相愛	高3	上田 弥穂	A
相愛	高3	中村 紗知子	B
相愛	高2	佐田 萌子	C
相愛	高2	伏見 有紗	D
相愛	中3	吉倉 ひなこ	E
相愛	中3	梶 礼美	F
相愛	中3	門松 美幸	A
相愛	中3	前田 円花	B
相愛	中2	町田 祐季子	C

大阪桐蔭	顧問	仲谷 浩一	
大阪桐蔭	顧問	瀬島 奈保子	
大阪桐蔭	顧問	北澤 亜紀	
大阪桐蔭	高1	小野 陽子	D
大阪桐蔭	高1	佐藤 衣美	E
大阪桐蔭	高1	山本 有香	F
大阪桐蔭	高1	玉井 志保里	A
大阪桐蔭	高1	木村 祐貴	B
大阪桐蔭	高1	扇田 昂典	C
大阪桐蔭	中1	稻沢 彩樹	D
大阪桐蔭	中1	正木 佑芽	E
大阪桐蔭	中1	渡邊 瞳	F
大阪桐蔭	中1	齊 千恵	A
大阪桐蔭	中1	張江 伊水	B

四天王寺	顧問	岡 宏治	
四天王寺	顧問	白崎 貢	
四天王寺	顧問	松本 真奈	C
四天王寺	高2	潮田 誠美	D
四天王寺	高2	小西 みのり	E
四天王寺	高2	西川 理菜	F
四天王寺	高2	福井 晴那	A
四天王寺	高2	藤川 由里	B
四天王寺	高2	増田 礼子	C
四天王寺	高2	両國 文那	D
四天王寺	高1	飯田 有	E
四天王寺	高1	榊 芳恵	F
四天王寺	高1	柳川 咲	A
四天王寺	高1	吉田 絢香	B
四天王寺	中3	上原 梨那	C
四天王寺	中3	西澤 明日香	D
四天王寺	中3	東尾 亜美	E
四天王寺	中3	山田 奈津実	F
四天王寺	中1	熊谷 朱音	A
四天王寺	中1	高畑 祐香	B
四天王寺	中1	山本 真央	C

浪速	顧問	寺田 紗弥子	
浪速	高3	二宮 隆行	C
浪速	高3	藤田 築	D
浪速	高2	小嶋 優	E
浪速	高2	司波 睦子	F
浪速	高2	原 彩芽	A
浪速	高2	福本 真奈	B
浪速	高2	藤田 真希	C
浪速	高2	奥野 智貴	D
浪速	高1	竹田 真衣	E

金光八尾	顧問	金崎 桂悟	
金光八尾	顧問	前田 裕子	
金光八尾	顧問	片島 哲哉	
金光八尾	高3	中尾 信之介	F
金光八尾	高2	太田 篤	A
金光八尾	高2	西山 雄基	B
金光八尾	高1	桐石 陽介	C
金光八尾	高1	井村 隆太	D
金光八尾	中3	下浦 萌香	E
金光八尾	中3	北野 凜	F
金光八尾	中2	本田 創史郎	A
金光八尾	中1	濱澤 吉希	B



## 大阪府学生連合会

大阪RC	石原 昌二
大阪RC	奥田 吾朗
大阪RC	銭高 丈善
大阪阪南RC	河野 利紘
大阪阪南RC	水取 孝司
大阪阪南RC	中山 実
大阪阪南RC	南部 高志
大阪阪南RC	谷野 清孝
大阪阪南RC	和田 健
大阪阪南RC	米田 誠治
大阪住吉RC	泉 博朗
大阪住吉RC	大戸 道彦
大阪住吉RC	西尾 良一
大東RC	田中 祥介
大東RC	加藤 敏明
大東RC	森山 信一
大東RC	大西 寛治
大東RC	中原 毅
大東RC	上田 正義
大東RC	田川 和見
大東RC	木村 克己
大東RC	中野 秀一
大東RC	中嶋 啓文
大東RC	鍛冶澤 千夏
大東RC	清水 修
大東RC	藤本 和俊
大阪南RC	末岡 祥弘
大阪南RC	谷 明
大阪南RC	暮松 毅
大阪南RC	狭川 正
大阪南RC	廣内 謙
八尾RC	松村 康司
八尾RC	新宮 一誓
八尾RC	田中 康正
八尾RC	植 健次
八尾RC	山田 博義
八尾RC	山本 勝彦
八尾RC	中西 啓詞
八尾RC	三木 康生

八尾RC	ガバナー	松本 新太郎
大阪城南RC	ガバナーエレクト	岡部 泰鑑
東大阪東RC	パストガバナー	吉川 謹司
大阪西	地区ローターアクト委員長	山内 康俊
	地区ローターアクト副幹事	友金 幹子
	国境なき奉仕団	松本 秀作
	国境なき奉仕団	酒井 一
	国境なき奉仕団	武田 和志
	事務局	栗正 久美
	大阪桐蔭	河津 浩司
	大阪桐蔭OB	森田 晃司

インターアクター	68
ロータリアン	41
顧問	15
事務局	1
	7
総勢	132



## 講演者プロフィール



松本 秀作 (まつもと しゅうさく)  
生年月日 1962年(昭和37年)5月8日  
本 籍 大阪府  
現 住 所 大阪府枚方市上野1丁目3番5

### 【学 歴】

昭和60年3月 東京工芸大学工学部画像工学科卒業  
昭和63年3月 Rochester Institute of Technology Master Course修了

### 【職 歴】

昭和60年2月 ダイコロ株式会社入社  
平成5年6月 研究開発部 部長(映像研究部兼任)に就任  
平成6年6月 映像研究部 部長に就任  
平成12年11月 取締役 映像本部本部長(東京支社長)に就任  
平成15年1月 取締役 営業本部本部長に就任  
平成15年10月 専務取締役に就任  
平成15年12月 代表取締役専務に就任  
平成19年10月 代表取締役社長に就任  
現在に至る

### 【講演・講師歴】

昭和63年～平成2年 京都工芸繊維大学 造形工学科にて非常勤講師  
印刷概論：卒業アルバムのマルチメディアについて授業 2単位  
昭和63年～平成7年 日本写真映像専門学校 講師  
印刷概論についての授業 3単位  
平成17年 社会経済フォーラム軽井沢賢人会議  
(主催 社会経済生産性本部 会長 牛尾治朗)  
「日本の豊かさについて」講演  
平成19年4月より 大阪芸術大学 芸術学部 写真学科デザイン学科 講師  
平成21年1月27日 茨城県(社)いばらきニュービジネス協議会 産業活性化トップセミナー  
「私の経営戦略」講演  
2月5日 ハイダルフォーラム21 ジュニア・フォーラムキックオフ・プログラム  
「次世代の経営幹部育成のロードマップ」講演  
現 在 その他、全国の青年会議所を中心に年間30回を超える講演活動を展開しております

### 【青年会議所における経歴】

平成3年 社団法人枚方青年会議所 入会  
平成11年 社団法人枚方青年会議所 理事長  
平成14年 社団法人日本青年会議所 会頭  
平成15年 世界青年会議所 国際連合/UNICEF代表

### 【その他の公職】

NPO法人 国境なき奉仕団 会長代行  
NPO法人 社会起業家ビジネススクール 理事長  
日本青年会議所シニアクラブ世話人代表  
日本青年会議所 ロシア友好の会 会長  
枚方文化国際財団 理事  
大阪北ロータリークラブ会員  
大阪芸術大学 講師  
社団法人日本青年会議所 会頭(平成14年)  
世界青年会議所 国際連合/UNICEF代表(平成15年)



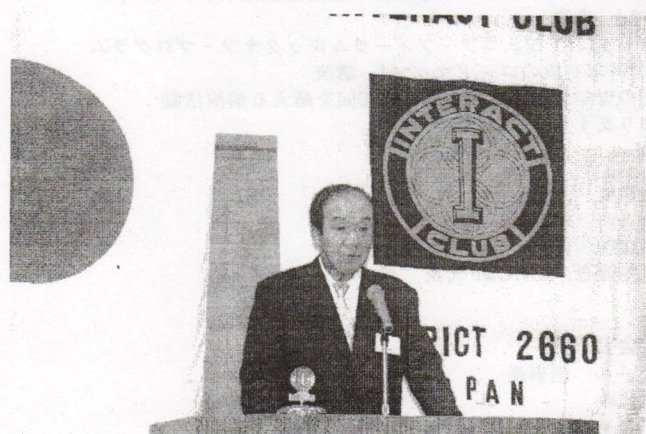
## 年次大会 歓迎の言葉

ハートでロて言献謝

大東RC会長 加藤敏明

2010年インターアクトクラブ年次大会を迎えられましたことは、桐蔭の提唱クラブ会長として心からお祝い申し上げます。

インターアクトクラブは高校生の年代の青少年に奉仕と国際理解の世界的友好の中で、共に活動する機会が与えられ、ロータリークラブの提唱を受け、学校、地域社会、または世界で奉仕プロジェクトを毎年計画、実行してインターアクトクラブの発展に努められ、成果をあげてこられた関係の皆様のご尽力に深く敬意を表します。インターアクトは、奉仕プロジェクトを実施しながら、リーダーシップを身につけて、世界中の若者と広く理解と親善をはかっていってほしいと思います。今後とも、インターアクトクラブが発展されますと共に、クラブの皆様の一層のご活躍とご支援をお願い致しまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



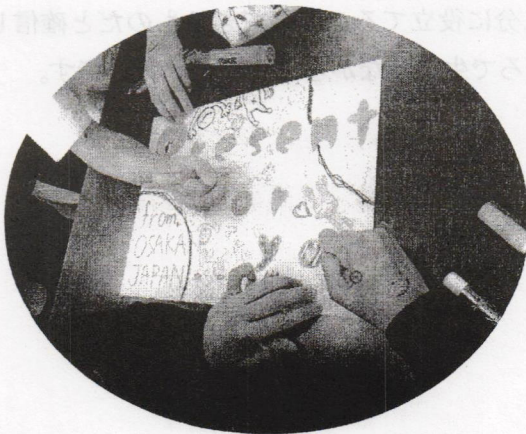


## 年次大会に参加して

金光八尾中学校 3年生

北野 凜

私は今回初めてインターアクトクラブの年次大会に参加しました。大会の中で、各校のインターアクトクラブの活動報告がありましたが、募金活動をしているところや定期的に学校周辺の清掃しているところなど、どの学校も色々な活動を頑張っているんだということが分かり、私の学校の活動も一生懸命やろうという気持ちになりました。文房具の梱包作業ではまず、全体で集まった文房具の数の多さに驚きました。そして、私の班では筆箱や定規がたくさん集まりました。こういうものは普通一つ持っていれば足りるものなので、私たちが多く持ちすぎて余っていたものが外国の子供達の役に立つというのはとてもいい事だと思いました。今回の年次大会に参加して、いろいろ新しい発見ができて本当に良かったと思います。





## 年次大会とミャンマーの子供たち

平次大司会に感謝

大阪桐蔭 IAC 扇田昂典

僕が九月二六日に年次大会があり、その幹事校が大阪桐蔭だという事を聞いたとき、二つの心配な点が頭に浮かびました。そのうちの一点は、入部一年目なので年次大会がどういうものなのかが分からないという事です。もう一点は、六月に行われた新入生歓迎会で他校の生徒と一切コミュニケーションをとることができなかつたので、今回もうまく人とコミュニケーションをとることができなければどうしようという不安でした。

そんな心配な点を心に抱きながら当日を迎えました。午前中は来賓の皆様などからお言葉をいただいたり、各学校の活動報告、海外研修の報告、松本秀作さんの講演、大阪桐蔭高等学校吹奏楽部による演奏会などが行われました。その後昼食をとり、午後からは文房具の梱包作業でした。各学校に集められた予想を上回る多くの量の文房具を梱包するのは大変な作業でした。

作業は六つの班に分かれて行われました。実際に作業を進めてみると、同じ目的を持った者同士だからなのか自然と会話が生まれ、良い雰囲気の中で班員全員が協力しあえたことによって、ほとんどの班が予定通りの時間に作業を終えることができました。そして、ここで梱包された文房具はメッセージカードと共にミャンマーに送られ、無事に子供たちの手に届かずはです。その行為と心を彼らに喜んでもらえれば僕はとても幸せです。

文房具梱包作業の後、閉会式が行われ、今年の年次大会は幕を閉じました。何の問題が起こることもなく、無事に終わることができて安心しました。以前から心配していた、人とのコミュニケーションもうまくとることができ、素晴らしい一日になりました。この日の経験は、今後の生活に十二分に役立てることのできるものだと確信しているので、今後はこの経験を様々なところで生かしながら生きていきたいです。



# インターアクトクラブ 年次大会

吉野会大光平

地区インターアクト委員長 谷野清孝

本日はインターアクトクラブ年次大会を開催いたしましたところ、第2660地区松本新太郎ガバナー、吉川謹司パストガバナー、岡部泰鑑ガバナーエレクトをお迎えし、このように盛大に開催させていただきます事を心から感謝申し上げます。

大会開催に当たりましては、企画・運営に関し、大阪桐蔭中学・高等学校の森山信一校長をはじめ顧問の先生や生徒さんにご協力を頂き感謝申し上げます。また、スポンサークラブの大東RC加藤敏明会長をはじめ、メンバーの皆様にもこころから御礼申し上げます。インターアクトクラブは地域社会の奉仕と国際理解を主眼に豊かな人間性とリーダーシップを養うことを目指し活動しています。本年も8月6日から9日まで3泊4日で韓国ソウルで海外交流と奉仕活動研修を推進して参りました。そして本日は『世界の子供たちに文房具を贈ろう』というターゲットのもと、私達が日頃使用している文房具は、世界の恵まれない子供達にとって高価な品物であり、なかなか手に入らない物であります。一つでも多くの文房具を世界の子供達に届くことを願って皆様一丸となって梱包、メッセージカードの作成に汗を流そうではありませんか。

それでは本日もインターアクターらしく明るく元気に一日を頑張りましょう。

簡単ではございますが、開会の言葉に代えさせていただきます。





## 年次大会報告

大阪桐蔭中学高等学校 I A C 顧問 仲谷 浩一

インターアクトクラブは、国際理解と奉仕活動を二つの柱として活動していますが、その目的に沿うものとして今年度の取り組みは、「世界の恵まれない子供達に文房具を贈ろう」というプロジェクトを計画しました。この活動を通じて身近なことから国際協力の一助を担おうという意図の下、未使用の文房具を集めることにしました。目標を各インターアクトクラブと提唱ロータリークラブと併せてダンボール1箱と設定しました。8月下旬、校内で呼びかけるための4種類のポスターを作成しました。そのポスターを各学校でも活用して頂き、各学校の全校生徒の皆さんに呼びかけの依頼をお願いしました。文化祭でキャンペーンをしていただいた学校もあり、各校それぞれ大変な努力とご尽力をいただきました。また、ロータリークラブさんのご協力のおかげもあって目標数量を大幅に上まわる文房具が年次大会当日までに回収することができました。誠にありがとうございました。

9月26日(祝)大阪桐蔭中学高等学校で年次大会が開催されました。参加人数はインターアクター68名、ロータリアン38名、顧問15名、事務局など6名の計127名でした。大会当日、午前中の式典では、各校の活動報告、海外研修の報告の後、講演としてNPO法人国境なき奉仕団会長代理 松本秀作さんからご報告をいただきました。講演内容は、どのような地域へ文房具が贈られるのかなど、その地域の様子をスクリーンを使って説明して頂きました。また、奉仕に対する心構えなど貴重なお話をうかがい、今回の活動意義がより一層深められました。その後、大阪桐蔭吹奏楽部による演奏会を聴いて頂き、昼食となりました。

午後からは文房具の梱包作業を行いました。班に分かれ、A・B・C班はペン類、D班はノート類、E班は消しゴム、F班はその他、とそれぞれ分担を決めました。箱に詰める前に文房具の数を数え、記録しました。回収結果は、下記表の通りです。和気あいあいとした雰囲気の中、ロータリアン・顧問も手伝いながら作業は進みました。みんなが熱心に取り組んでいる様子は、とても微笑ましく感じました。その後、各班で英文やイラストによるメッセージカードを書き、自分たちの思いが届くことを願って梱包作業は終了しました。

後日、NPO法人国境なき奉仕団、NPO法人BAJブリッジージャパンを通じて文房具16箱(重量242kg)をミャンマー国にお贈りしました。この文房具が子供達に渡れば、それは単に物としてだけではなく、私たちの心も一緒に伝わるでしょう。この私たちの心が子供達の生きる勇気になります。文房具を手にした子供達



に明るい未来が訪れることを願いつつ報告を終わります。

最後になりましたが、ロータリークラブの皆様には何かとご尽力いただきましたこと  
に対して深く感謝申し上げます。

#### 回収文房具一覧表

文房具の種類	個数
鉛筆	5, 137
ペン	2, 096
色鉛筆 (クレヨン含む)	572
ノート (メモ類)	1, 121
ファイル	388
消しゴム	1, 955
筆箱	96
定規	253
付箋	253
糊	42
セロテープ	19
したじき	14
はさみ	18
クリップ	552
キャップ	41
絵の具	6
鉛筆削り	16
押しピン	551
修正テープ	16
修正ペン	10
マグネット	16
道具箱	2
輪ゴム	
合計	13, 174



## ミャンマーからの報告

みんなで集めて梱包作業した貴重な文房具は、無事にミャンマーに到着しました。  
贈呈式は2010年11月26日に行われました。

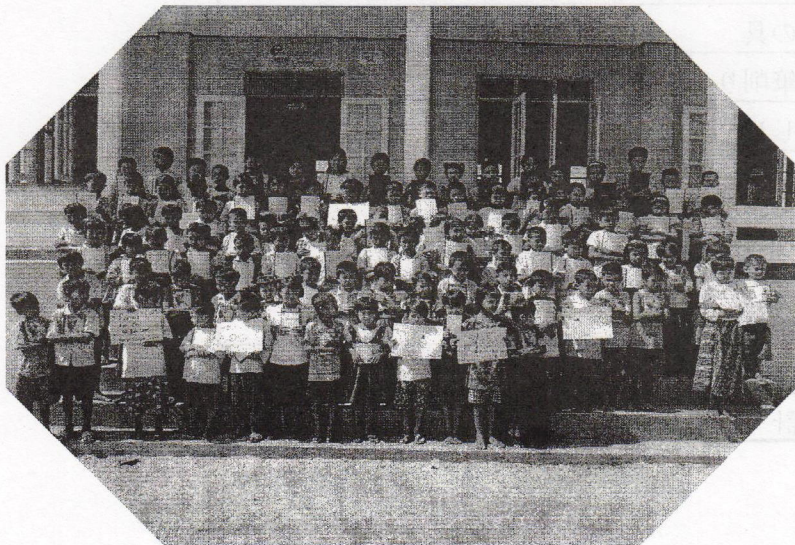
ミャンマー国 Hti Yar Li 小中学校 (ティヤリ小中学校)

場所 エヤワディ管区モールミヤインジュン・タウンシップ ティヤリ村 ティヤリ小  
中学校 (Maulamyine Gyun 管区 Hri Yar Li 村) (村の人口 433 人 : 農業 33%・漁  
業 67%)

生徒数 328 名 (男子 162 名・女子 166 名) 1 年生～9 年生まで

教師 U Tin Thein 校長 その他教師 5 名・ボランティア教師 5 名 (村からの支援)

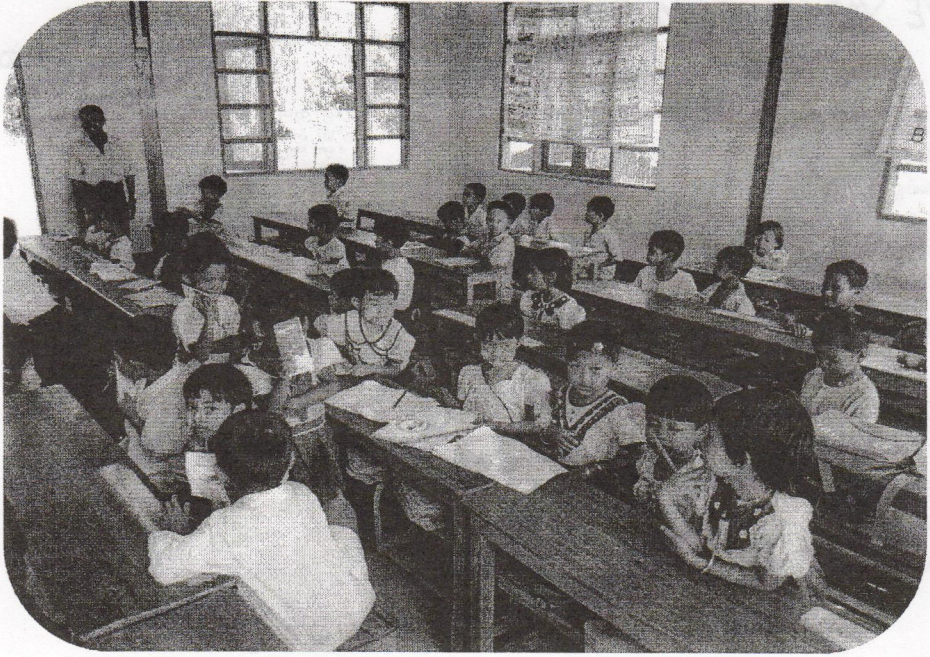
子供たちのはじける笑顔をご覧ください！



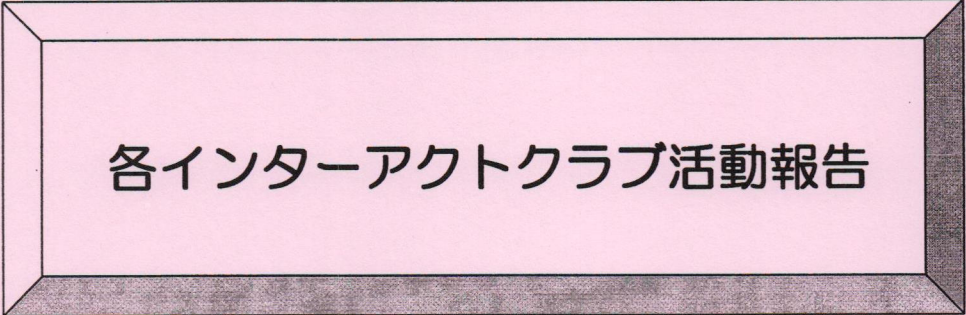












各インターアクトクラブ活動報告







# 清風中学校・高等学校



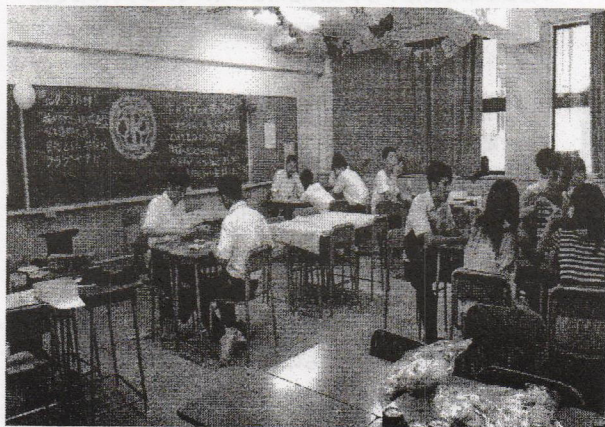
1975年に大阪南ロータリーの提唱で、英会話サークルだったESSを母体として清風学園インターアクトが設立されましたから、今年で35周年を迎えることになります。OBは250名を超えました。

現在の清風学園インターアクトは、高校生5名、中学生5名の、計10名で活動しています。部員の所属学年が、六か年一貫コースの高2と中3に集中しているので、日常の活動は中高で別々になってしまいます。全体で活動するのは行事の時だけというのが現状です。日常の活動は、国際交流の準備としての英語学習が中心で、地域奉仕に関する活動は校内行事を利用したの募金活動だけになっています。



6月には新入生歓迎会のホストをしましたが、ホストをする側が新入生だらけで、準備不足のドタバタした会になってしまいました。予定していたプログラムの一部をできない羽目になってしまいました。部員一同反省しています。

8月の海外研修には、高校生4名と中学生1名で参加しました。韓国のインターアクターとの交流を通して、彼らの社交性、会話力に大いに刺激を受けて帰ってきました。また同時に、一緒に参加した2660地区の他校のインターアクトの活動内容の多彩さにも刺激を受けました。清風学園インターアクトも、今後の活動内容を充実させていこうと思いました。



9月の文化祭では、模擬店をするかわら、以前からずっと続けている盲導犬募金と、学生会と共同で続けている『アジアへ井戸を』の募金活動を行いました。また、大阪桐蔭インターアクトの提案による『ミャンマーへ文房具を贈ろう』に向けての文房具集めも行い、さまざまな文房具を集めることができました。

日常の活動は停滞していますが、皆さんの活動に刺激を受けた海外研修参加組を中心に、校外での募金活動や、新しい活動目標の策定に向けて、話し合いを続けています。



# 大阪桐蔭中学校・高等学校



大阪桐蔭中学高等学校インターアクトクラブは1983年秋に大東ロータリークラブの提唱で発足しました。部員は中学生5名、高校生6名の合計11名です。

早朝7時45分に学校へ集合し、定期的に学校周辺の通学路を清掃しています。道には多くのゴミが落ちています。特にゴミがまとまって捨てられている場所があり、ゴミがあれば気軽にそこに捨てようという心理が働くようになるのでしょうか。私たちの清掃している姿を見て感じてもらいたいです。これからも地道に実施して、より一層地域奉仕に励みたいと思います。



11月3日の文化祭の日にあしなが学生募金を行いました。正門前で、たすきを肩に掛け、ピラを配布しながら、募金箱を持って募金のお願いを呼びかけました。学校の生徒、保護者の方々、地域の方々、学校の生徒、先生などが募金に協力してくれました。結果、合計30,820円もの募金を集めることができました。皆さんのあたたかい御支援に感謝致します。交通遺児の方々が少しでも進学できることに役立てれば幸いです。

1月には、書き損じハガキの回収に取り組んでいます。ポスターを作り、校内に掲示し、回収箱を本館と東館の職員室にそれぞれ設置し、全校生徒に呼びかけ、ご協力をお願いしました。回収ハガキは大阪府視聴覚福祉協会にお贈りし、障害者の方々の社会参加を促進する事業に活用して頂いています。障害をお持ちの方に少しでもお役に立てればと思い取り組んでいます。



5月に学校の前を流れている鍋田川の清掃活動として、大東青年会議所主催の「クリーンアップリバー」という行事に参加しました。想像以上にゴミが多く驚きました。大阪産業大学の大学生や町内会の方も協力して下さり、皆で川をきれいにすることができました。その後、鍋田川の水質調査をしました。これからも積極的に参加したいと思います。

7月には例会を開いています。提唱ロータリークラブの先生方に学校へお越し頂いて、私たちの取り組んできた活動を報告し、その後、卓話を頂きます。今後も部員一同、力を合わせ積極的に取り組んでいきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

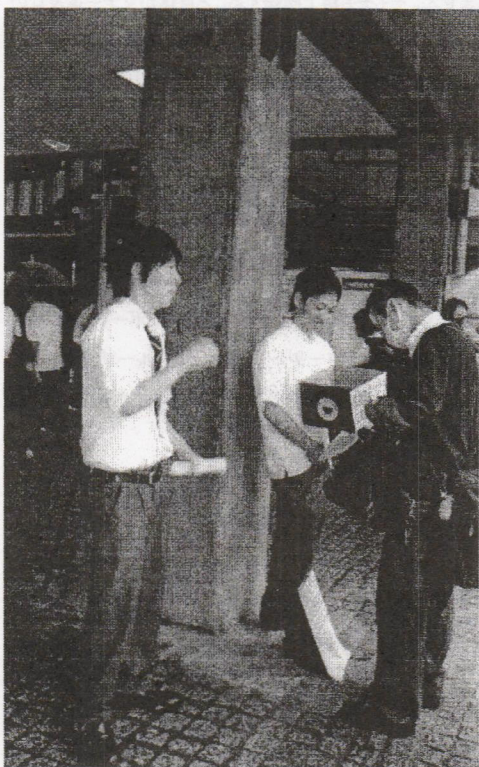


# 関西大学連携浪速中学校・浪速高等学校



浪速高校インターアクトクラブは現在高校生9名で活動しています。

まず初めに、学校周辺の清掃活動について報告します。月に1回、学校から最寄り駅までの通学路を清掃しています。タバコの吸い殻、空き缶、コンビニの袋などが非常に多く、ポイ捨てをしている人が多いという印象が残りました。この清掃活動を通じて、注意を呼びかけ少しでもポイ捨てが少なくなることを願っています。



次に、浪速祭でのポリオ撲滅のための募金活動について報告します。最初はあまり足をとめてくれませんでしたでしたが、インターアクトのみんなの呼びかけにより次第に足を止めてくれ、募金をしてくれる人が多くなりました。また、この募金を通じてポリオのことを少しでもしっていただければと思います。

次に、大阪住吉ロータリークラブのロータリアンの先生方と留学生との餅つき大会について報告します。当日はとても寒かったのですが、餅つきをはじめるとみるみるうちに汗が出て暑いくらいでした。みんなで交代でついたので、10分も経てばみんな疲れ切っていました。餅米だったのが大きな一つの餅になったのを見て充実感を覚えました。その後、留学生と一緒に餅を小分けにするなどの作業をし、交流を深めました。留学生とは言葉が通じなくてもすぐに打ち解けることができ、楽しい時間を過ごせました。





# 四天王寺高等学校・中学校



四天王寺中高インターアクトクラブの活動報告をします。

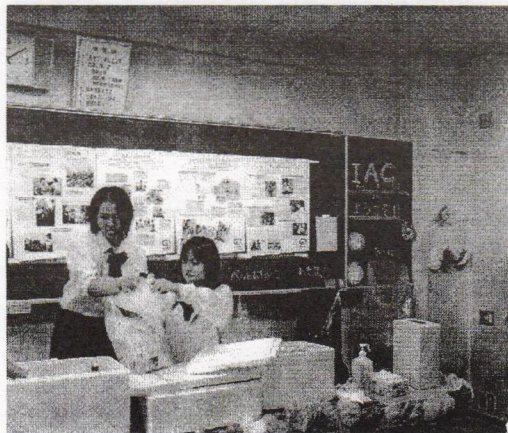
私たちの主な活動は、火曜日と金曜日の朝に行う学校周辺の清掃活動と金曜日の昼休みに行う例会です。

朝の清掃の際、私たちが拾うゴミの種類の中でいちばん多いのは、タバコの吸い殻です。今では、路上喫煙禁止条例を施行している自治体も多く、大阪市も『路上喫煙の防止に関する条例』に基づいたキャンペーンなどを行っているようですが、喫煙者の中には『歩きタバコはマナー違反・条例違反だ』という意識が低い人がまだまだ多いのが現状なのかもしれません。そもそも路上喫煙すること自体がマナー違反なのに、その上、吸い殻をポイ捨てする人がいるのかと思うと、やりきれない思いがすることもあります。クラブ員みんなで協力して路上がきれいになった後は、すがすがしい気持ちになります。



また、今年の春には、私たちのこの清掃活動が『善行少年』として天王寺警察に表彰されました。私たちの普段の行いがこのような形で認められ、とてもうれしく、また今後の励みともなりました。

毎年7月には、ロータリーの方々と交流会として、ボーリング大会を行っています。私たち部員とロータリーの方々とでグループに分かれてスコアを競うのですが、ロータリアンの皆さんはどなたもボーリングが上手で、私たちにも優しく教えて下さいます。



文化祭では、毎年『Children』という店名で、フリーマーケットを催し、それと同時にユニセフ募金活動も行っています。

10月には、上本町ハイハイタウン付近で、赤い羽募金活動をしています。毎年たくさんの方に募金をしていただいています。

3月には卒業された先輩との送別会を開き、ビンゴゲームをしながら、先輩との時間を楽しく過ごしました。

また、もちろん新入生歓迎会・海外研修・年次大会を通して他校の皆さんとの交流を深めています。これからも今まで以上に、活動の範囲を広げて、地域社会の発展に少しでも貢献できればと考えています。



# 金光八尾中学校・高等学校

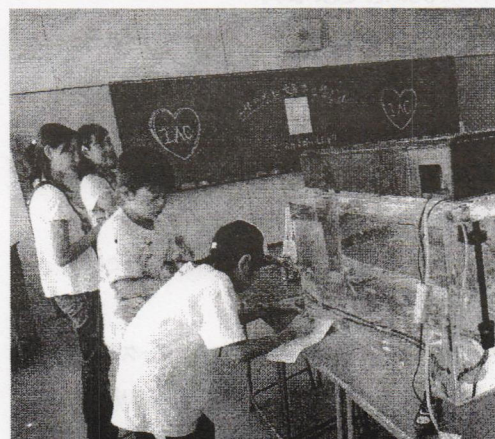


金光八尾インターアクトクラブは 現在12名の部員で活動しています。今年の活動はまず昨年度延期になった新入生歓迎会からのスタートでした。今回の歓迎会の時期はずれましたが、本校が幹事校ということで企画段階から工夫しました。具体的には料理を通じて交流を深めることを目的に、飯盒炊さんを実施しました。できあがったカレーライスはちょっと水っぽい感じでしたが、大勢で食べる食事は格別でした。また、植樹というのも初めての経験で、いいことをした気持ちになりました。

続いての活動も、新入生歓迎会が続きましたが、今度は、浜寺公園でのオリエンテーリングとバーベキューでした。オリエンテーリングでは、最初他の学校のインターアクト部員との活動ということで、ドキドキしましたが、時間がたてば会話も弾み、その後のバーベキューもおいしく食べることができました。



次の活動は、7月の猛暑の中行われる夏期奉仕活動でした。これは金光八尾高校が創立されて以来25年間ずっと続けてきた活動で、インターアクトクラブが設立されてからは、僕たちがお世話をするようになりました。主な活動内容は、本校の前を流れる玉串川や近隣の公園の清掃を行うもので、インターアクト部員は活動の企画と道具の管理・そして当日の監督を行います。今年は特に記録的な猛暑で、1時間程度の作業でも汗で全身がビショ濡れになるほどでしたが、作業が終了したあと川がきれいになっているのを見ると充実感を感じました。また、清掃活動をしている最中に近隣の方々から「お疲れさん」と声をかけていただき、そういわれると思われぬ力が発揮されました。いずれにしても、人の役に立っているという気持ちを実感できる取り組みだったと思います。



そして、9月18日に行われた文化祭では、私たち金光インターアクトクラブのテーマである玉串川の環境に興味を持ってもらおうと、玉串川で捕獲した魚やカニなどを水槽で展示し、クイズなどで楽しんでもらいました。例年100人以上の見学者が来場し、大盛況になります。特に玉串川に住んでいる魚のほとんどを展示した大水槽は人だかりができる程度です。また、今年はこれに付け加え外来魚の繁殖に関して危機感を持ってもらう為に、ブラックバスやカダヤシを展示し、こういった外来種が日本の固有種の個体数減少につながることを紹介しました。今後も、このような玉串川に関する活動を通じて環境問題を考える、そんな活動を続けていきたいです。また、今回の文化祭では今回の年次大会のテーマである、「世界の子供たちに文房具を贈ろう」をテーマに未使用の文房具の回収を呼びかけたところ、生徒だけでなく、多くの保護者にも協力いただき、これだけの品々を集める事ができました。



# 相愛中学校・高等学校



私たち相愛インターアクトクラブは生徒会執行部が中心となり、高校が7名、中学が5名の計12名で活動しています。

私たちの学校は御堂筋に面しており、月に2回の「町美化」という学校周辺の清掃活動で御堂筋の清掃も行っています。大阪の中心とも言える御堂筋をみなさんが気持ちよく歩けるようにと願いながら、ゴミを拾ったりしています。

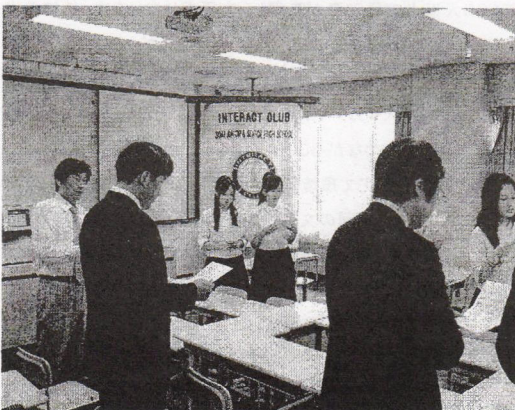
前年度の終盤、3月19日に、シンガポールから Bukit Panjang Government High School(武中)を学校にお迎えしました。中学卒業生を見学していただき、その後交流会を行いました。本校音楽科の生徒の演奏を聴き、武中の生徒さんたちも歌などを発表してくださいました。また日本文化の習字と一緒に体験したりして交流を深めました。

この夏は、8月6日から9日の海外研修で国際ロータリー第3650地区の韓国を訪れ、民族村で韓国の歴史を学んだり、世界遺産の光化門広場を観光したりして、貴重な体験ができました。韓国武道を見学し、色々な韓国料理も食べることができ、異文化を体感する非常に有意義な時間を過ごしました。何より、ハンヨン外国語高校の皆さんと交流できたことは、心に残る大切な思い出になりました。



文化祭では、今年度も「セーブ・ザ・チルドレン」についての展示をします。世界の子どもたちの「貧困」の実態を知り、考える機会を生徒の皆さんに持ってもらいたいと思います。

また、昨年12月に、堺にある老人ホーム「愛ライフ」へボランティア活動に行きました。車椅子の使い方を教えていただいたり、部屋の掃除をさせていただいたりしました。利用者の方とお話をしたことも印象に残りました。実際に役に立てたのかはわかりませんが、老人ホームの皆さんに喜んでいただけたようでよかったと思います。



また何かこのような活動ができればと、今考えているところです。

このように色々な活動ができるのは、ロータリークラブの方々に協力をいただいているおかげだと、いつも感謝しております。大きな力を貸していただきありがとうございます。これからも、インターアクトクラブの目標である「奉仕の精神」「国際理解」の2つを深めていきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。



-----2010-2011-----

R12660 地区  
各インターアクトクラブ名簿







# 清風学園インターアクトクラブ

ADDRESS: 〒543-0031 大阪府大阪市天王寺区石ヶ辻町 12-16

PHONE: 06-6771-5757 FAX06-6772-3882

SPONSORCLUB: 大阪南ロータリークラブ

ADDRESS: 〒542-0076 大阪府大阪市中央区灘波 5-1-60 スイスホテル南海15階1503号室

PHONE: 06-6646-5228 FAX06-6646-5289

FOUNDED: 1975年7月22日

## 大阪南ロータリークラブ インターアクト委員会

氏名	役職	氏名	役職	氏名	役職
谷 明	委員長	長谷川恵一	委員	狭川 正	委員
暮松 毅	副委員長	掛川雅仁	委員	塚本邦彦	委員

## 清風学園インターアクトクラブ

《顧問》 中村明夫・高橋達矢・儀満光治

氏名	役職	学年	氏名	役職	学年
安達 佑	会長	高2	木村領介	部長	中3
清水 哲	副会長	高2	中川弘陽		中3
高畑勝司	幹事	高2	北岡昌真		中3
生田啓之助	会計	高2	内田裕己		中3
堀田悠一郎		高1	川端太喜		中3



# 大阪桐蔭中学・高等学校インターアクトクラブ

ADDRESS: 〒574-0013 大阪府大東市中垣内 3-1-3

PHONE: 072-870-1001 FAX072-875-3330

SPONSORCLUB: 大東ロータリークラブ

ADDRESS: 〒574-0046 大阪府大東市赤井 1-2-12 ポップタウン別館内

PHONE: 072-875-1200 FAX072-875-0590

FOUNDED: 1976年6月8日

## 大東ロータリークラブ インターアクト委員会

氏名	役職	氏名	役職	氏名	役職
中野 秀一	委員長	大西 寛治	委員	東村 正剛	委員
		田川 和見	委員	中嶋 啓文	委員

## 大阪桐蔭中学・高等学校インターアクトクラブ

《顧問》 仲谷浩一・北澤亜紀・瀬島奈保子

氏名	役職	学年	氏名	役職	学年
小野 陽子	会長	高1	稲沢 彩樹		中1
佐藤 衣美	副会長	高1	斉 千恵		中1
山本 有香	幹事	高1	張江 伊水		中1
玉井 志保里	幹事	高1	正木 佑芽		中1
木村 祐貴		高1	渡邊 瞳		中1
扇田 昂典		高1			



# 関西大学連携浪速中学校 浪速高等学校インターアクトクラブ

ADDRESS: 〒558-0023 大阪府大阪市住吉区山之内 2-13-57

PHONE: 06-6693-4031 FAX06-6693-6511

SPONSORCLUB: 大阪住吉ロータリークラブ

ADDRESS: 〒545-0052 大阪府大阪市阿倍野区阿倍野筋 1-1-43 近鉄百貨店本店内

FOUNDED: 1982年4月1日

## 大阪住吉ロータリークラブ インターアクト委員会

氏名	役職
大戸道彦	委員長

## 関西大学連携浪速中学校・浪速高等学校インターアクトクラブ

《顧問》 寺田紗弥子・木村智子

氏名	役職	学年	氏名	役職	学年
藤田 築	会長	高3	辰巳奈都貴		高2
二宮 隆行	副会長	高3	梶本遥香		高2
小嶋 優		高2	宗 彩芽		高2
司波 睦子		高2	奥野智貴		高2
谷野 真依		高2	竹田 真衣		高1
井上加奈子		高2	岡田 智絵		高1



# 四天王寺高等学校・中学校インターアクトクラブ

ADDRESS: 〒543-0051 大阪府大阪市天王寺区四天王寺 1-11-73

PHONE: 06-6772-6201 FAX06-6773-4113

SPONSORCLUB: 大阪阪南ロータリークラブ

ADDRESS: 〒543-0055 大阪府大阪市天王寺区悲田院町 8-11 新和興産ビル 302 号

PHONE: 06-6772-5816 FAX06-6779-7956

FOUNDED: 1983 年 3 月 17 日

## 大阪天王寺ロータリークラブ インターアクト委員会

氏 名	役 職
高 木 正 夫	委員長
渡 邊 猛	副委員長

## 四天王寺高等学校・中学校インターアクトクラブ

《顧問》岡 宏治・白崎 貢・野口 弘・松本真奈

氏 名	役 職	学 年	氏 名	役 職	学 年
松山真由香	会 長	高 3	福井晴那		高 2
栗原律子	幹 事	高 3	増田礼子		高 2
稲村美子	会 計	高 3	両國文那		高 2
藤川由里		高 2	飯田有		高 1
潮田誠美		高 2	徳田千雅		高 1
岩永珠季		高 2	柳川 咲		高 1
奥上雅子		高 2	榊 芳 恵		高 1
徳重彩夏		高 2	吉田綾香		高 1
西川理菜		高 2	西澤明日香		中 3
小西みのり		高 2	東尾亜美		中 3



# 金光八尾中学・高等学校インターアクトクラブ

ADDRESS: 〒581-0022 大阪府八尾市柏村町 1-63

PHONE: 072-922-9162 FAX072-922-4496

SPONSORCLUB: 八尾ロータリークラブ

ADDRESS: 〒581-0003 大阪府八尾市本町 2-2-8 八尾市商工会議所 2階 202号室

PHONE: 072-991-2129 FAX072-924-0010

FOUNDED: 1987年7月29日

## 八尾ロータリークラブ インターアクト委員会

氏名	役職
三木康生	インターアクト担当

## 金光八尾中学・高等学校インターアクトクラブ

《顧問》金崎桂悟・前田裕子・片島哲哉・藤井康宏

氏名	役職	学年	氏名	役職	学年
中尾信之介	会長	高3	井村隆太		高1
岩本 彩		高3	桐石陽介		高1
大平梨絵		高3	北野 凜		中3
下岡美香		高3	下浦萌香		中3
西山雄基	副会長	高2	本田創史郎		中2
太田 篤		高2	濱澤吉希		中1



# 相愛中学・高等学校インターアクトクラブ

ADDRESS: 〒541-0053 大阪府大阪市中央区本町 4-1-23

PHONE: 06-6262-0621 FAX06-6262-0534

SPONSORCLUB: 大阪ロータリークラブ

ADDRESS: 〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島 5-3-68 リーガロイヤルホテル 418 号室

PHONE: 06-6448-1121

FOUNDED: 2003年9月3日

## 大阪ロータリークラブ インターアクト委員会

氏名	役職	氏名	役職	氏名	役職
石原昌二	委員長	出口湛龍	委員	北村寛治	委員
奥田吾朗	副委員長	生駒伸夫	委員	黒田雅史	委員
銭高文善	副委員長	小浦芳生	委員	湯木潤治	委員

## 相愛中学・高等学校インターアクトクラブ

《顧問》 川西清史・松本多加

氏名	役職	学年	氏名	役職	学年
森内友梨恵	会長	高3	伏見有紗		高2
桑原紗英	副会長	高3	吉倉ひなこ		中3
坂東亜衣子	副会長	高3	梶礼美		中3
上田弥穂	書記	高3	門松美幸		中3
中村沙知子	書記	高3	前田円花		中3
佐田萌子		高2	町田祐希子		中2



# R.I 第 2660 地区インターアクトクラブ

## ～～ローテーション表（予定）～～

2011.3.11

	年次大会当番校 新入生歓迎会	海外研修当番	スクラム当番校
2010 年度	大阪桐蔭中学・高等学校 I.A.C 大東 R.C	浪速中学・高等学校 I.A.C 大阪住吉 R.C	金光八尾中学・高等学校 I.A.C 八尾 R.C
2011 年度	相愛中学・高等学校 I.A.C 大阪 R.C	四天王寺高等学校・中学校 I.A.C 大阪阪南 R.C	清風学園 I.A.C 大阪南 R.C
2012 年度	浪速中学・高等学校 I.A.C 大阪住吉 R.C	金光八尾中学・高等学校 I.A.C 八尾 R.C	大阪桐蔭中学・高等学校 I.A.C 大東 R.C
2013 年度	四天王寺高等学校・中学校 I.A.C 大阪阪南 R.C	清風学園 I.A.C 大阪南 R.C	相愛中学・高等学校 I.A.C 大阪 R.C
2014 年度	金光八尾中学・高等学校 I.A.C 八尾 R.C	大阪桐蔭中学・高等学校 I.A.C 大東 R.C	浪速中学・高等学校 I.A.C 大阪住吉 R.C
2015 年度	清風学園 I.A.C 大阪南 R.C	相愛中学・高等学校 I.A.C 大阪 R.C	四天王寺高等学校・中学校 I.A.C 大阪阪南 R.C
2016 年度	大阪桐蔭中学・高等学校 I.A.C 大東 R.C	浪速中学・高等学校 I.A.C 大阪住吉 R.C	金光八尾中学・高等学校 I.A.C 八尾 R.C
2017 年度	相愛中学・高等学校 I.A.C 大阪 R.C	四天王寺高等学校・中学校 I.A.C 大阪阪南 R.C	清風学園 I.A.C 大阪南 R.C
2018 年度	浪速中学・高等学校 I.A.C 大阪住吉 R.C	金光八尾中学・高等学校 I.A.C 八尾 R.C	大阪桐蔭中学・高等学校 I.A.C 大東 R.C



## 編集後記

日本の古くからの慣習に「共助」というものがあります。困った人がいれば周りの人間がそれを助け、助けられた人は、次に困った人がいれば無償で手を差しのべる。この「共助」は本来、日本社会の特性の一つだと思います。このようなすばらしい慣習も時代とともに薄れ、希少なものになっています。昨今、その「共助」の精神が息を吹き返す出来事がありました。2011年の1月に北陸地方を襲った大雪で、特急のサンダーバードが動けなくなった時、食料が無く困窮した乗客をみかねた地域の住民は、町役場で炊き出しをはじめ、おにぎりやお茶を届けたそうです。この話を聞いた時、日本の社会も、まだまだ捨てたものではないなと思いました。この「共助」こそ、日本のボランティアの原点であり、私達が受け継いでいかなければならない伝統的な文化ではないでしょうか。私達インターアクトクラブもこの「共助」の精神にのっとり、人の役に立つ活動を目指していきたいと思います。さらに、このような活動を通じて新たな人々との出会いを大切にしていきたいと思います。今回の年次大会では、「世界の子供たちに文房具を贈ろう」という活動を行いました。数ヶ月後、ミャンマーからお礼の手紙が届きました。そこに写る子供達の笑顔を見た時、とても幸せな気持ちになりました。このような取り組みを一過性のものにするのではなく、今後もさらに世界の様々な人達の役に立てるインターアクトクラブでありたいと思います。

### 追伸

前年度の新入生歓迎会(H22. 11. 15)で、八尾アクトランドにインターアクトクラブとロータリークラブの方々全員で植樹したウワミズザクラも、春が近づきつぼみがつき始めています。

ウワミズザクラ(上溝桜)

バラ科のサクラ属の落葉高木樹

4～5月葉が開いてから枝先に長さ6～8cmの

総状花序(ブラシ状)をつける。

花は白色で多数密に咲き芳香がある。果実は9月に

黄色で熟すと赤色から黒色になる。また生食や、果実酒として利用できる。



発行 R.I 第 2660 地区インターアクト委員会

担当校 金光八尾中学・高等学校 I.A.C

編集者 谷野清孝(地区委員長)

発行日 2011年3月

印刷 大成美術印刷株式会社







